

# 大学生のアルバイト実態調査（2020年）



## 調査概要

### 調査対象

本調査：18～23歳の大学1年生～4年生 6年制大学、大学院生は除く

### 調査期間

2020年2月21日（金）2月25日（火）

### 調査方法

外部パネルによるWEBアンケート調査

### 有効回答数

1,280名

調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。  
株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ部 アルバイトリサーチチーム E mail : myArm@mynavi.jp

## INDEX

### （1）回答者プロフィール

居住地 / 文理 / 学年 / 力をいれていること / お小遣い

### （2）大学生のアルバイト就業実態

就業状況 / アルバイト形態 / 経験社数 / 月収 / 職種 / 日数 / 曜日 / 時間 / 期間

### （3）大学生のアルバイト探しに関する意識

仕事探しの重視点 / 入社の決め手 / アルバイト開始時の不安要素

### （4）非就業理由と就業意向

非就業理由 / 就業意向

### （5）現在のアルバイトへの意識

就業目的 / 継続意向 / 満足度 / 前向きさ / 推奨度 / 継続意向とアルバイト先の実情 / 継続意向とやりがい / 理想の上司像 / やりがい

### （6）アルバイトにおける早期離職の実態と意識

離職経験 / 早期離職要因

### （7）アルバイトにおける就職活動の意識

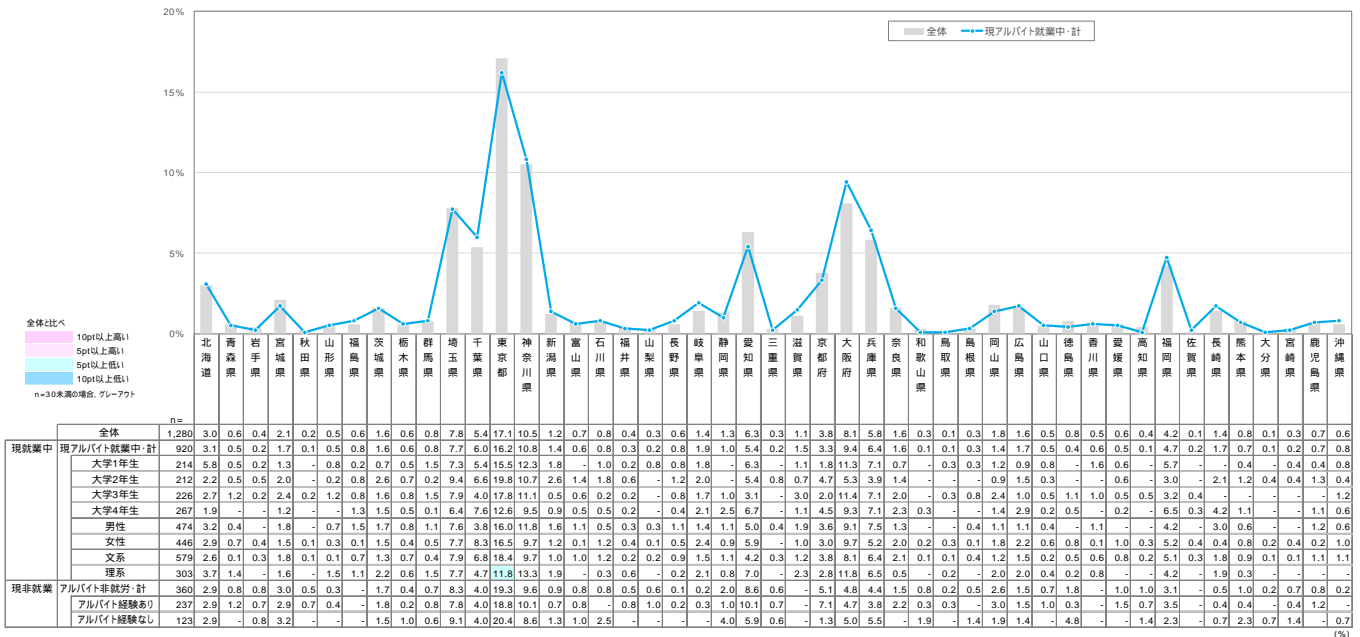
就職活動への意識 / 意識項目 / 就職先候補と理由・職種

ウェイトバック集計について

## (1) 回答者プロフィール

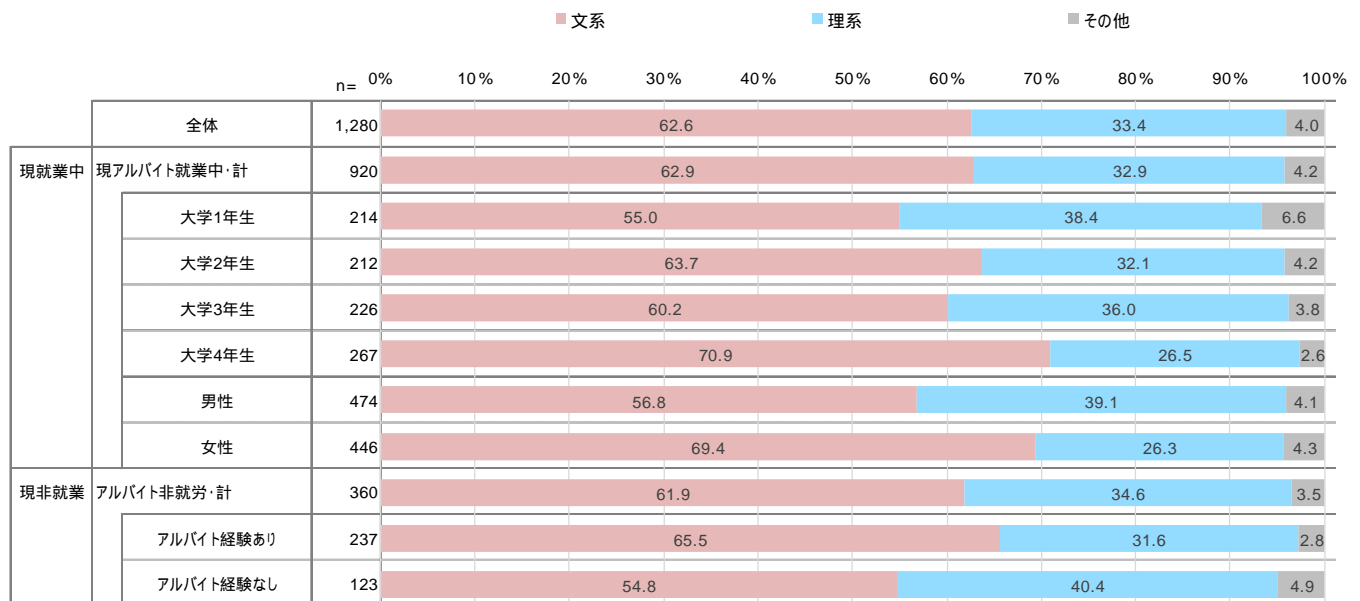
### 居住地（単一回答）

- ・現アルバイト就業中・計でみると、1都3県、関西圏、愛知県、福岡県の居住者が多く、全体と同様の傾向を示す
- ・現アルバイト就業中・理系で、東京都の比率がやや低め



### 文理（単一回答）

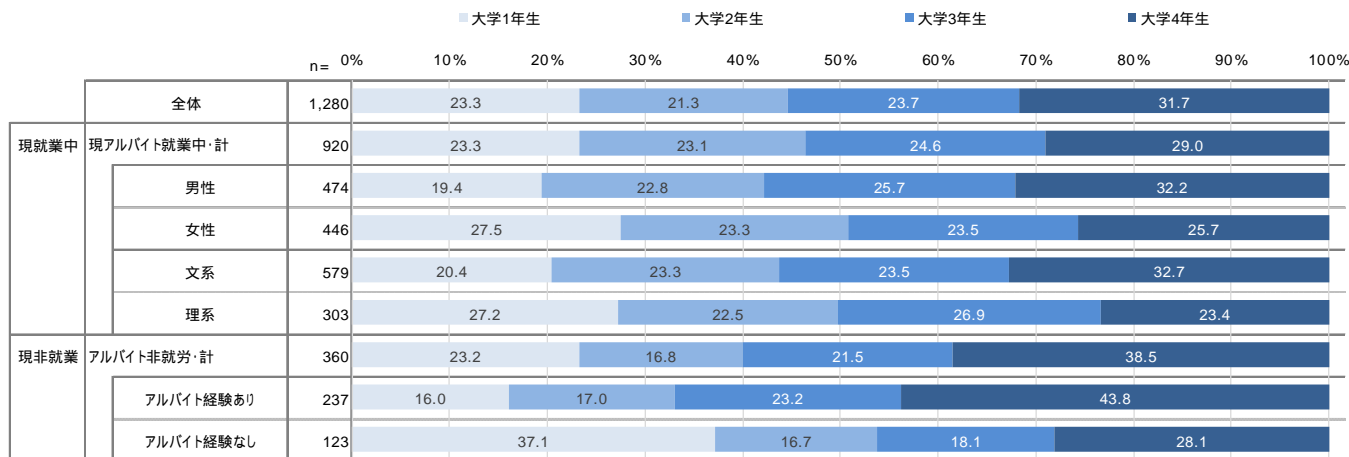
- ・現アルバイト就業中・計の文理比率は全体とほぼ同様
- ・現就業中でみると、大学4年生と女性で「文系」比率が約7割と、特に高い
- ・現非就業では、アルバイト経験なしで「理系」の比率がやや高め



## 学年（単一回答）

・全体と現アルバイト就業者・計の学年の比率の差はほとんどない

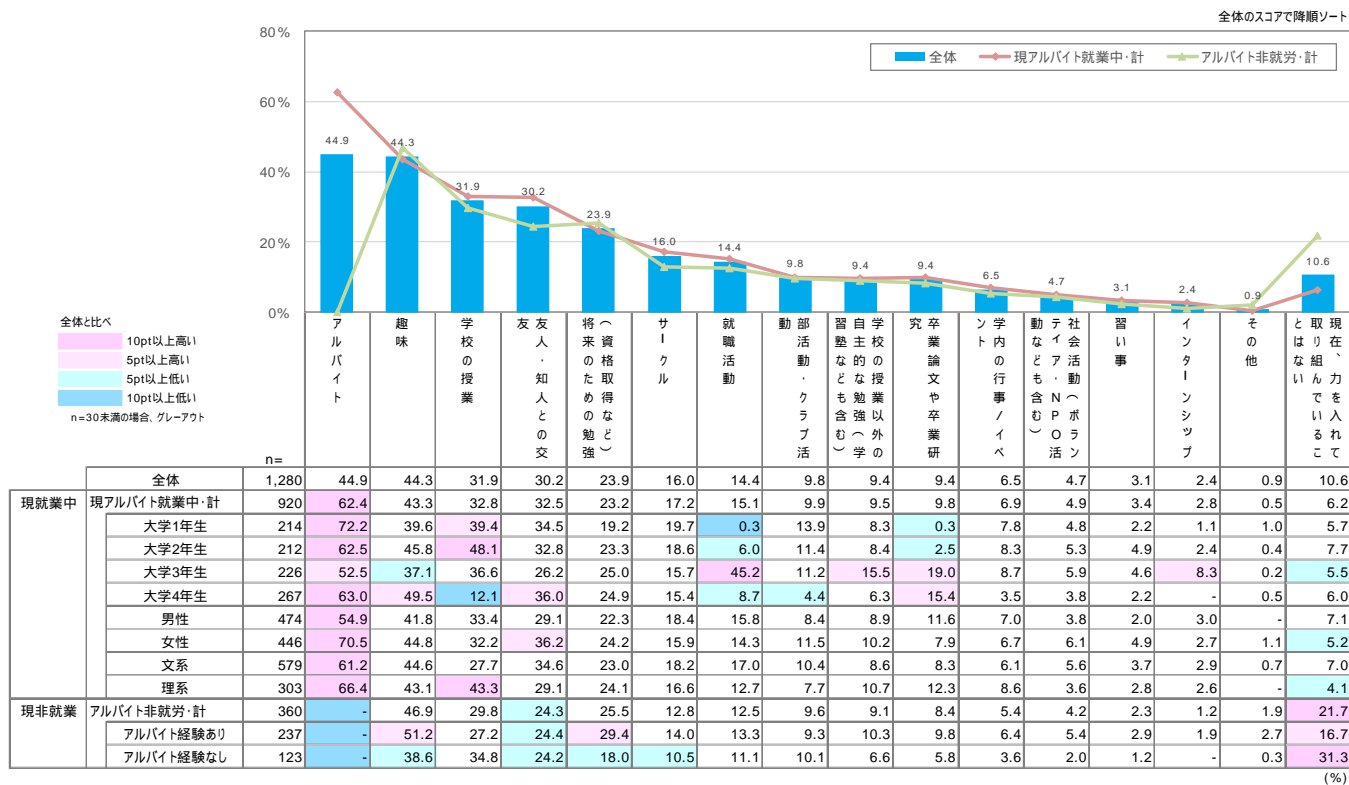
・一方、アルバイト非就労・計は全体に比べ「大学4年生」の比率がやや高め（特にアルバイト経験ありで4割強と高い）



## 力を入れていること（複数回答）

・現アルバイト就業者・計でみると、「アルバイト」のほか「趣味」「学校の授業」「友人・知人との交友」などが上位にあがる

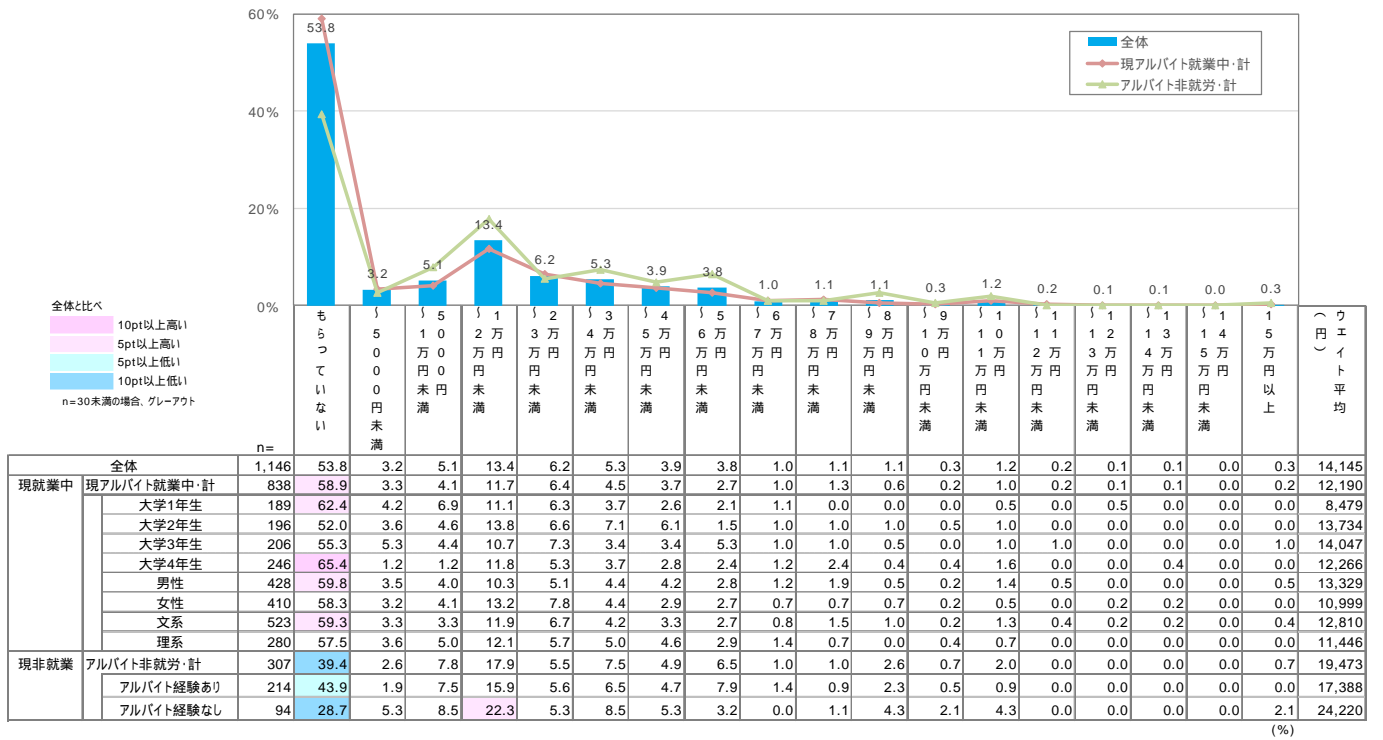
・「アルバイト」は4学年の中で大学3年生が最も低い。大学3年生は「就職活動」「学校の授業以外の自主的な勉強（学習塾なども含む）」「卒業論文や卒業研究」「インターンシップ」など、就職活動や勉強がやや高め



### お小遣い（単一回答）

・現アルバイト就業者・計の5割強がお小遣いを「もらっていない」と回答。現アルバイト就業者・計のお小遣いの平均金額は12,190円で、全体の14,145円を下回る

・一方、アルバイト非就労・計は全体に比べ「大学4年生」の比率がやや高め（特にアルバイト経験ありで4割強と高い）

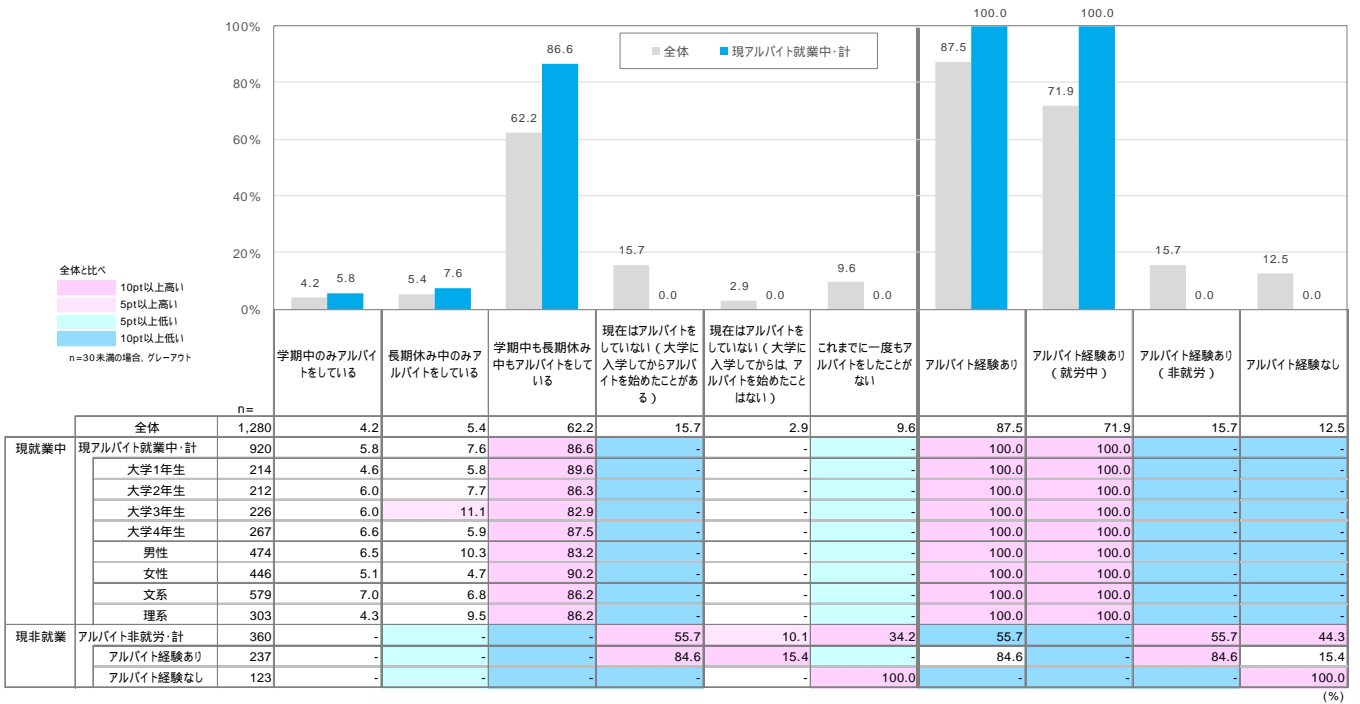


## (2) 大学生のアルバイト就業実態

### アルバイト就業状況

#### 【アルバイトの就業状況として当てはまるもの（複数回答）】

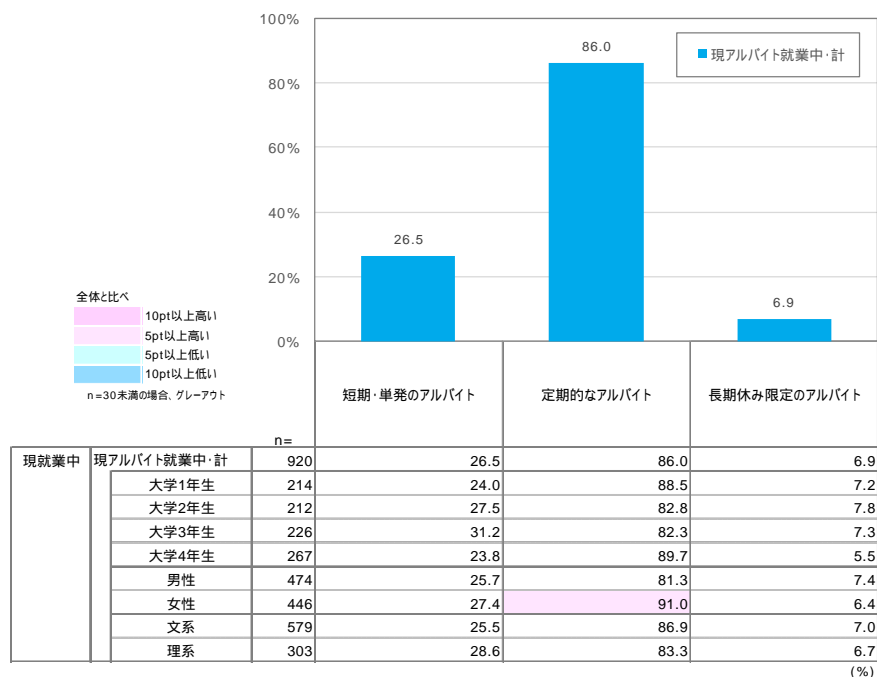
- ・現アルバイト就業中・計の9割弱が「学期中も長期休み中もアルバイトをしている」
- ・「学期中も長期休み中もアルバイトをしている」は女性で約9割と特に高い



### アルバイト形態

#### 【現在のアルバイトの就業形態（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者

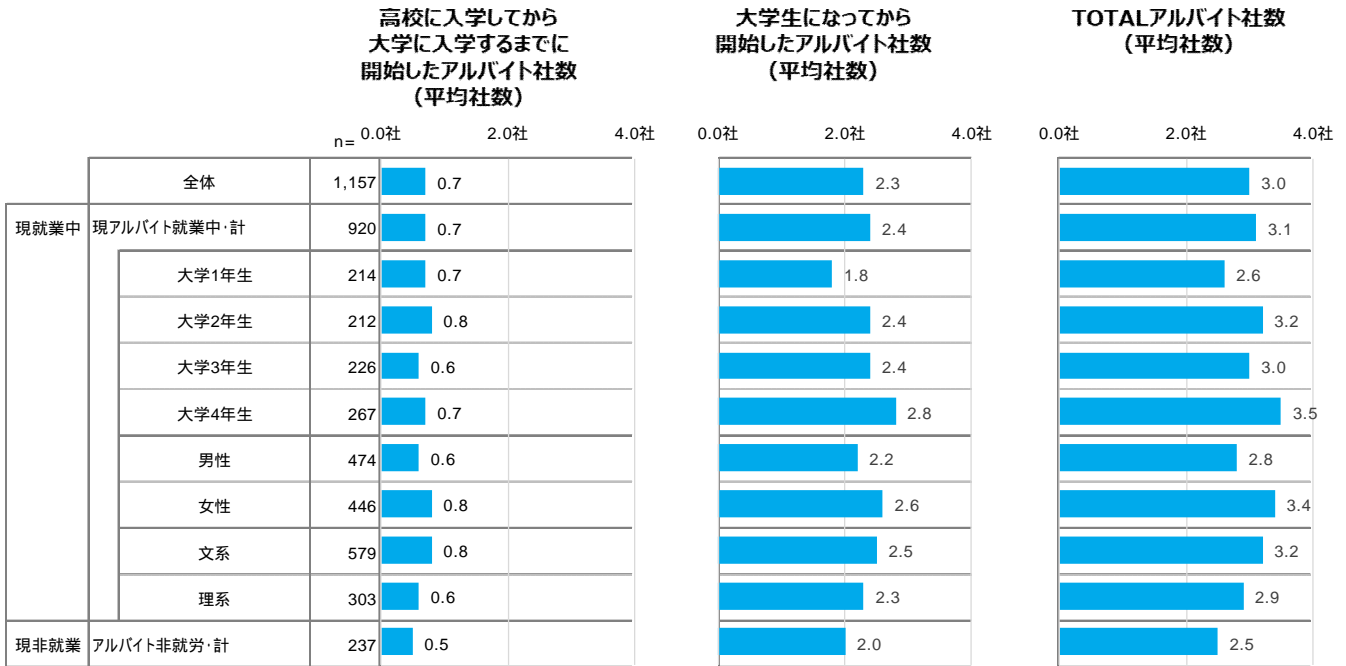
- ・現就業中でみると、「定期的なアルバイト」が9割弱を占める
- ・女性で「定期的なアルバイト」が9割強と、やや高め



## アルバイト経験社数

【アルバイト経験者数（数量回答）】 ベース：アルバイト就業者 + 非就業者のアルバイト経験者

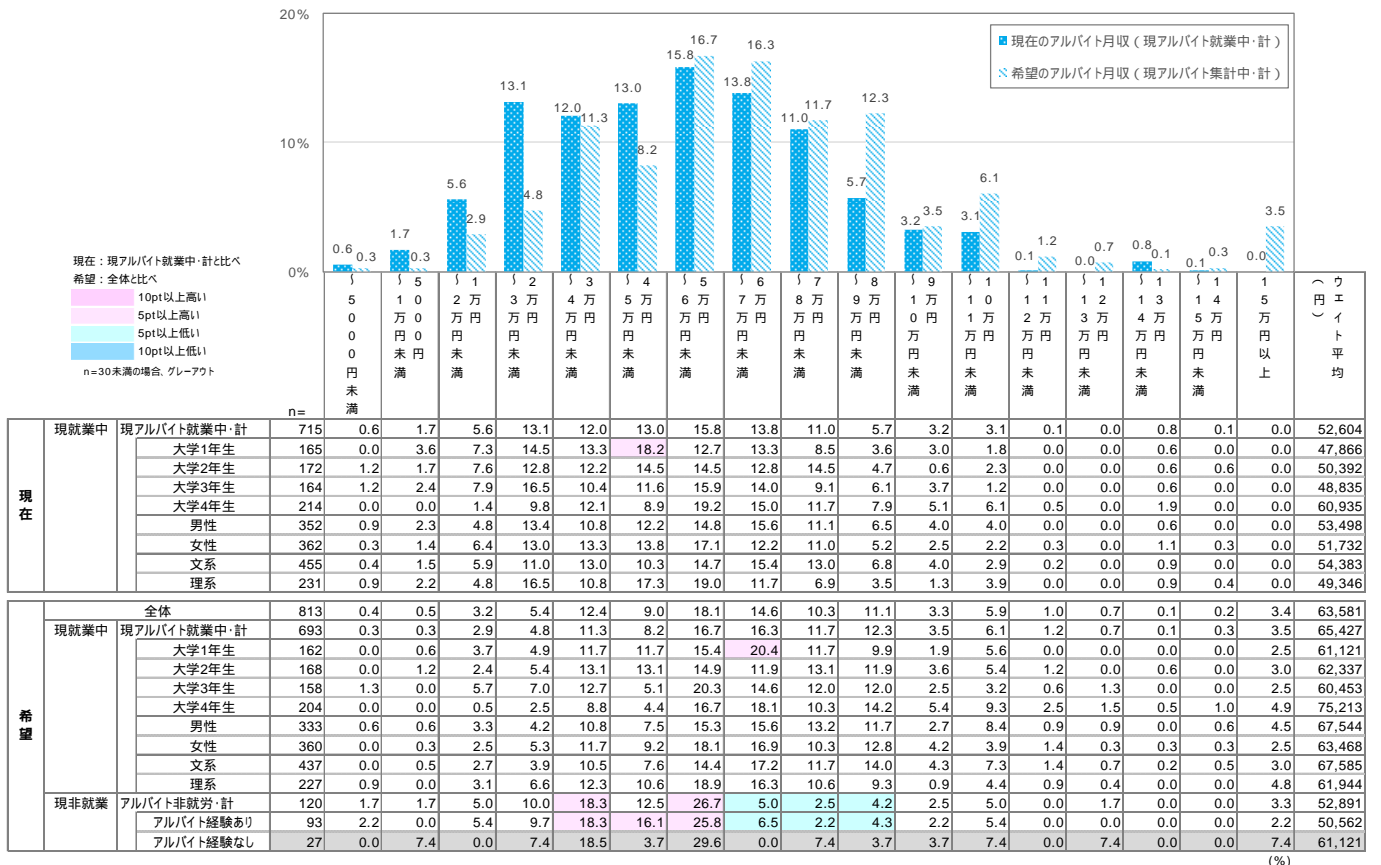
- ・現アルバイト就業者・計でみると、【高校に入学してから大学に入学するまでに開始したアルバイト社数】は平均0.7社、【大学生になってから開始したアルバイト社数】は平均2.4社、【TOTALアルバイト社数】は平均3.1社
- ・現就業者でみると、大学4年生と女性で高め



## 【学期中】月収（現在・希望）

【学期中のアルバイトの手取り月収 / 希望する手取り月収（単一回答）】 ベース：有効回答のみ

- ・現アルバイト就業者・計でみると、現在の【学期中】の平均月収は52,604円、希望の平均月収は65,427円
- ・現在および希望のいずれも、大学4年生で平均金額が最も高い

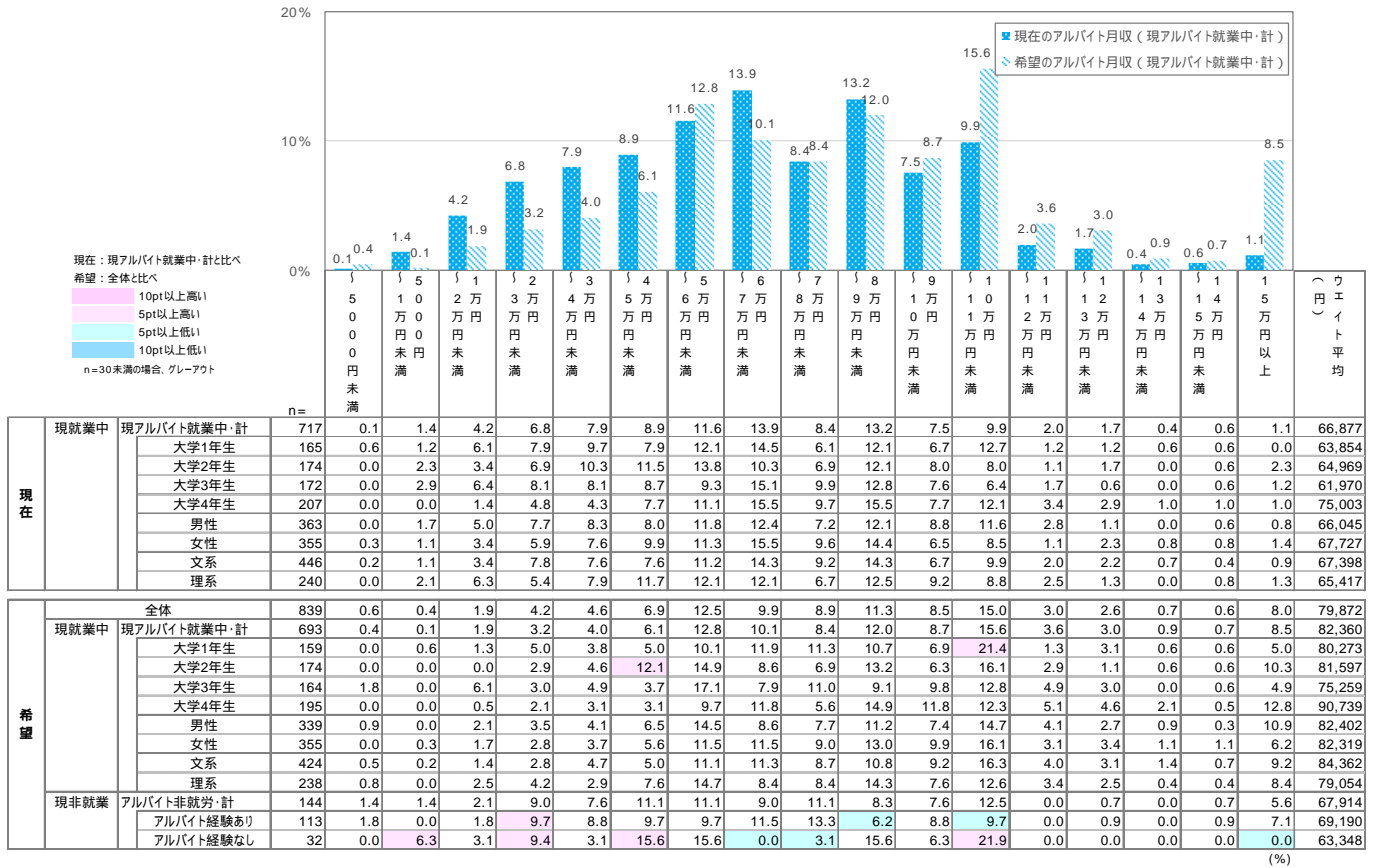


【長期休命中】月収（現在・希望）

【長期休暇中のアルバイトの手取り月収 / 希望する手取り月収（単一回答）】 ベース：有効回答のみ

・現アルバイト就業中・計でみると、現在の【長期休命中】の平均月収は66,877円、希望の平均月収は82,360円

・現在および希望のいずれも、大学4年生で平均金額が最も高い



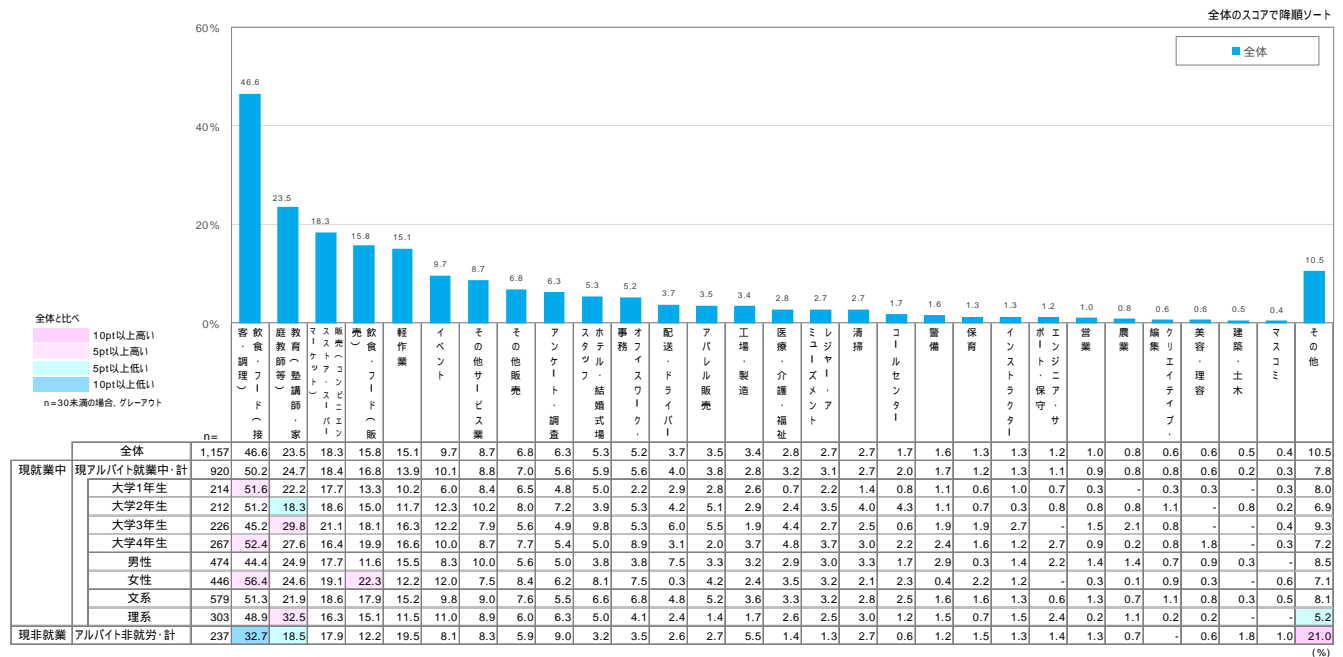
職種（今までに経験のある）

【今までに経験したことのあるアルバイト（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者 + 非就業のアルバイト経験者

・現アルバイト就業中・計でみると、「飲食・フード（接客・調理）」が圧倒的に高く、次いで「教育（塾講師・家庭教師等）」

・「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」、「飲食・フード（販売）」、「軽作業」などが上位にあがる

・「飲食・フード（接客・調理）」は大学1年生/4年生および女性で高め。「教育（塾講師・家庭教師等）」は大学3年生および理系で高め





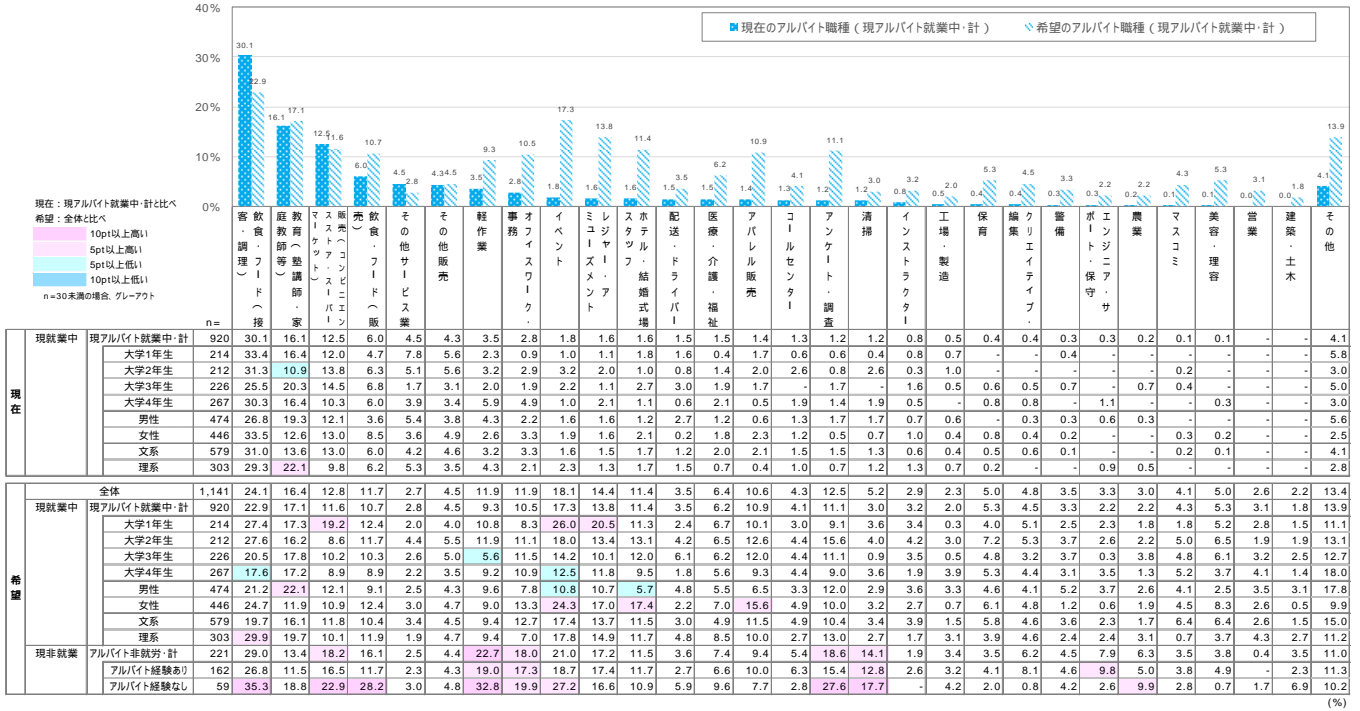
## 職種（現在・希望）

【現在のアルバイト職種（単一回答） / 希望するアルバイト職種（複数回答）】

希望 = アルバイト就業者 + 非就業のアルバイト意向者

- ・現アルバイト就業者・計で現在の職種をみると、「飲食・フード（接客・調理）」が特に高く、そのほか「教育（塾講師・家庭教師等）」、「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」、「飲食・フード（販売）」などが上位にあがる
- ・現アルバイト就業者・計で希望の職種をみると、「飲食・フード（接客・調理）」が特に高く、次いで「イベント」「教育（塾講師・家庭教師等）」、「レジャー・アミューズメント」などが上位にあり、現在の職種とやや傾向が異なる

「現在の「現アルバイト就業者・計」のスコアで降順ソート

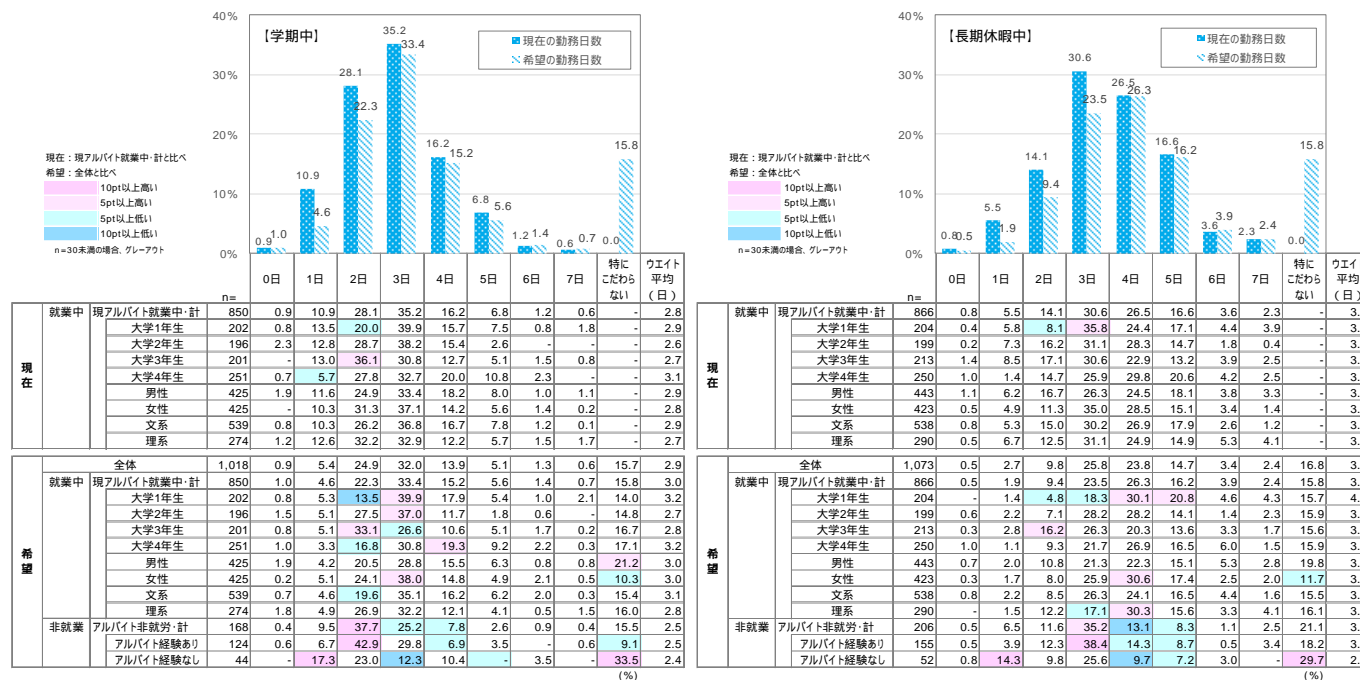


## 勤務日数（現在・希望）

【現在の勤務日数 / 希望の勤務日数（複数回答）】 ベース：現在 = 学期中 / 長期休暇中のアルバイト就業者

希望 = 学期中 / 長期休暇中のアルバイト就業者 + 非就業の学期中 / 長期休暇中のアルバイト意向者

- ・現アルバイト就業者・計でみると、現在の[学期中]の平均アルバイト日数は2.8日、希望の平均アルバイト日数は3.0日と、いずれも[長期休み中]を下回る
- ・現在の平均アルバイト日数は大学4年生で3.1日とやや多い
- ・希望の平均アルバイト日数は現就業者中の大学1年生と大学4年生で3.2日とやや多い
- ・現アルバイト就業者・計でみると、現在の[長期休み中]の平均アルバイト日数は3.5日、希望の平均アルバイト日数は3.8日
- ・現在の平均アルバイト日数は大学1年生と大学4年生で3.7日とやや多い
- ・希望の平均アルバイト日数は現就業者中の大学1年生で4.1日と最も多い





## 勤務曜日（現在・希望）

【現在の勤務日数 / 希望の勤務日数（複数回答）】 ベース：現在 = 学期中 / 長期休暇中のアルバイト就業者

希望 = 学期中 / 長期休暇中のアルバイト就業者 + 非就業の学期中 / 長期休暇中のアルバイト意向者

・【学期中】における現在のアルバイト曜日を現アルバイト就業者・計でみると、「平日」は4割前後、「土曜日」が約6割で最多

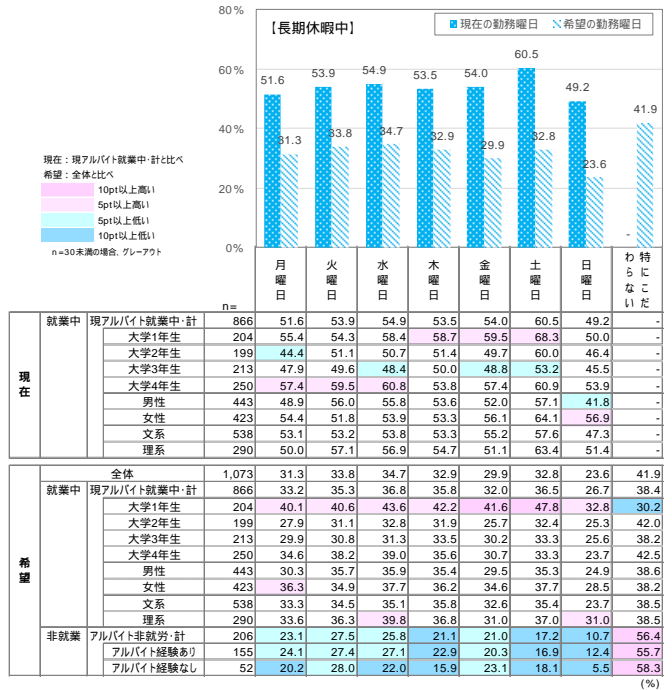
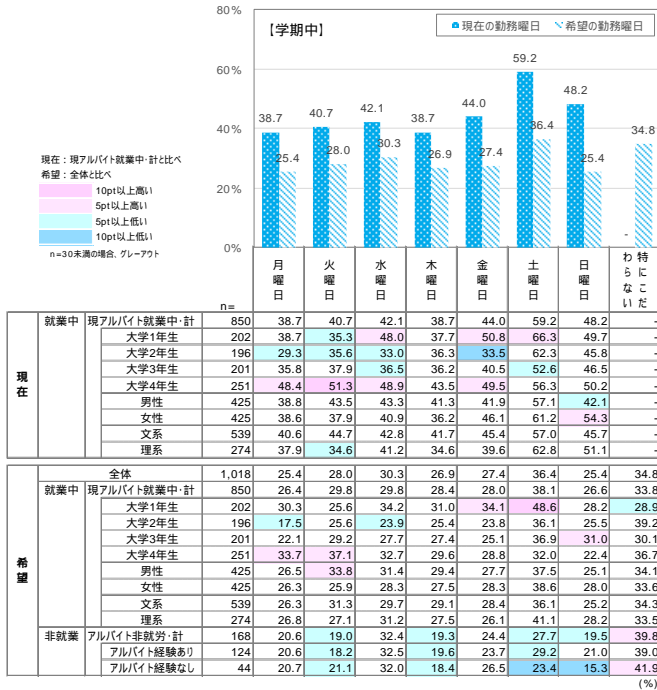
・希望のアルバイト曜日を現アルバイト就業者・計でみると、「平日」「日曜日」は3割前後、「土曜日」が4割弱で最も多い

・現在について、大学4年生で曜日全般にスコアがやや高め

・【長期休み中】における現在のアルバイト曜日を現アルバイト就業者・計でみると、「平日」「日曜日」は5割前後、「土曜日」が約6割で最多

・希望のアルバイト曜日を現アルバイト就業者・計でみると、「平日」「土曜日」は3割台、「日曜日」が3割弱で最も少ない

・現在および希望のいずれも、大学1年生で曜日全般にスコアがやや高め



## 勤務時間（現在・希望）

【現在の勤務時間 / 希望の勤務時間（単一回答）】

ベース：現在 = 学期中 / 長期休暇中のアルバイト就業者

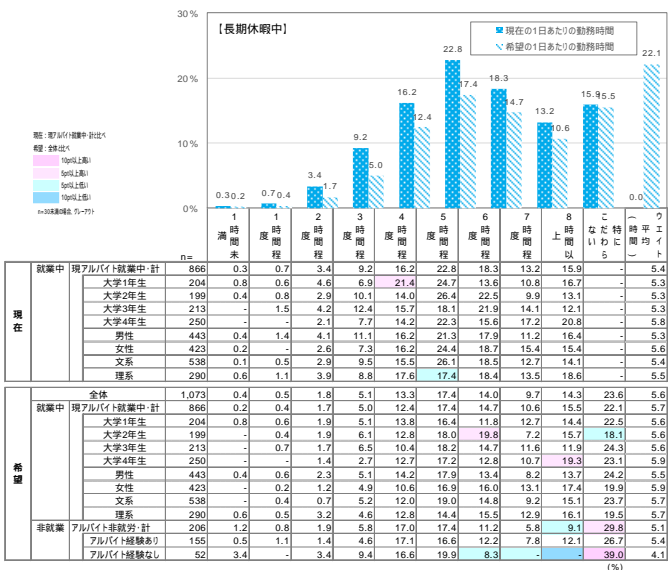
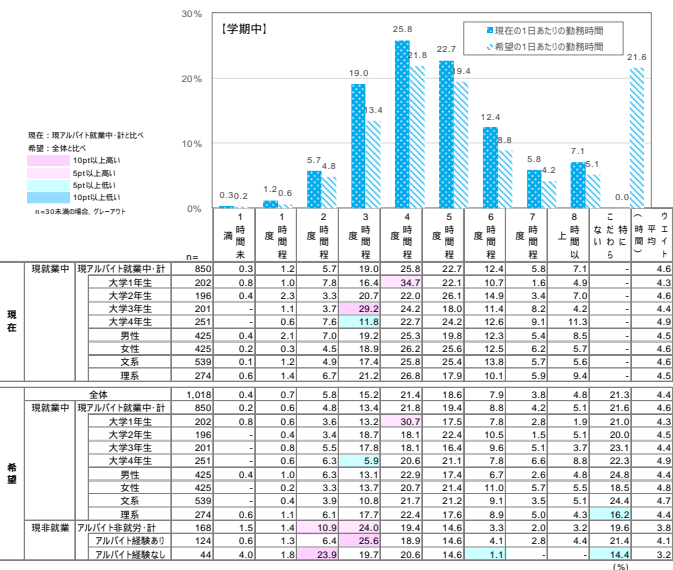
希望 = 学期中 / 長期休暇中のアルバイト就業者 + 非就業の学期中 / 長期休暇中のアルバイト意向者

・現アルバイト就業中・計の、【学期中】における現在および希望の平均勤務時間は4.6時間

・【長期休み中】と同様に、現在および希望の平均勤務時間は大学4年生で最も長い

・現アルバイト就業中・計の、現在の【長期休み中】の平均勤務時間は5.4時間、希望の平均勤務時間は5.7時間と、希望がやや上回る

・現在および希望の平均勤務時間は大学4年生で最も長い



# 勤務期間（現在・希望）

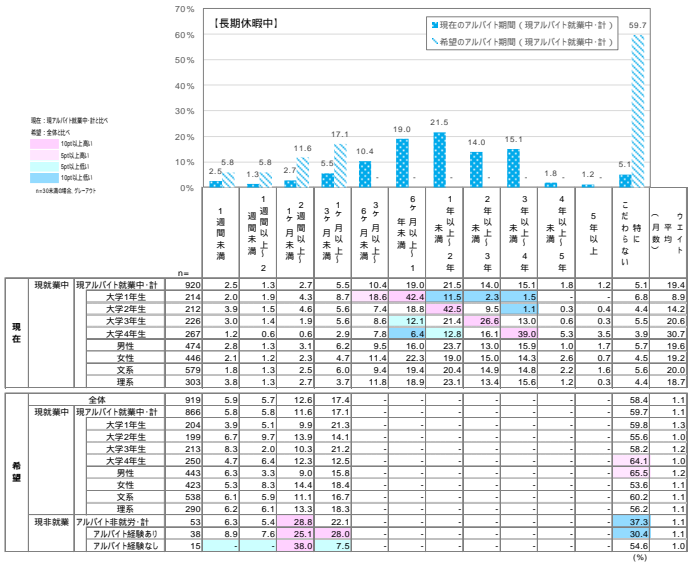
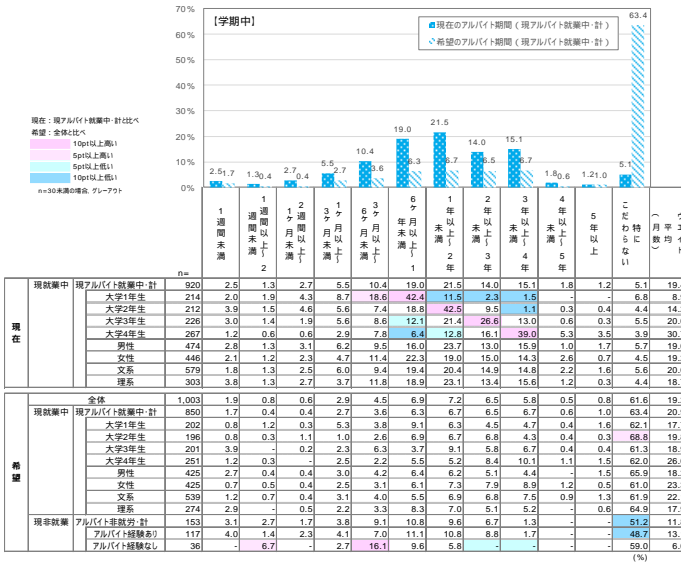
【現在のアルバイト先における勤務期間 / 希望の勤務期間（単一回答）】

ベース：現在 = アルバイト就業者 希望 = アルバイト就業者 + 非就業の学期中 / 長期休暇中のアルバイト意向者

・現アルバイト就業中・計でみると、現在の平均アルバイト期間は19.4ヶ月

・【学期中】における現アルバイト就業中・計の希望をみると、20.9ヶ月。大学4年生が最も長（26.0ヶ月）

・【長期休暇中】における現アルバイト就業中・計の希望をみると、1.1ヶ月。大学1年生が最も長（1.3ヶ月）



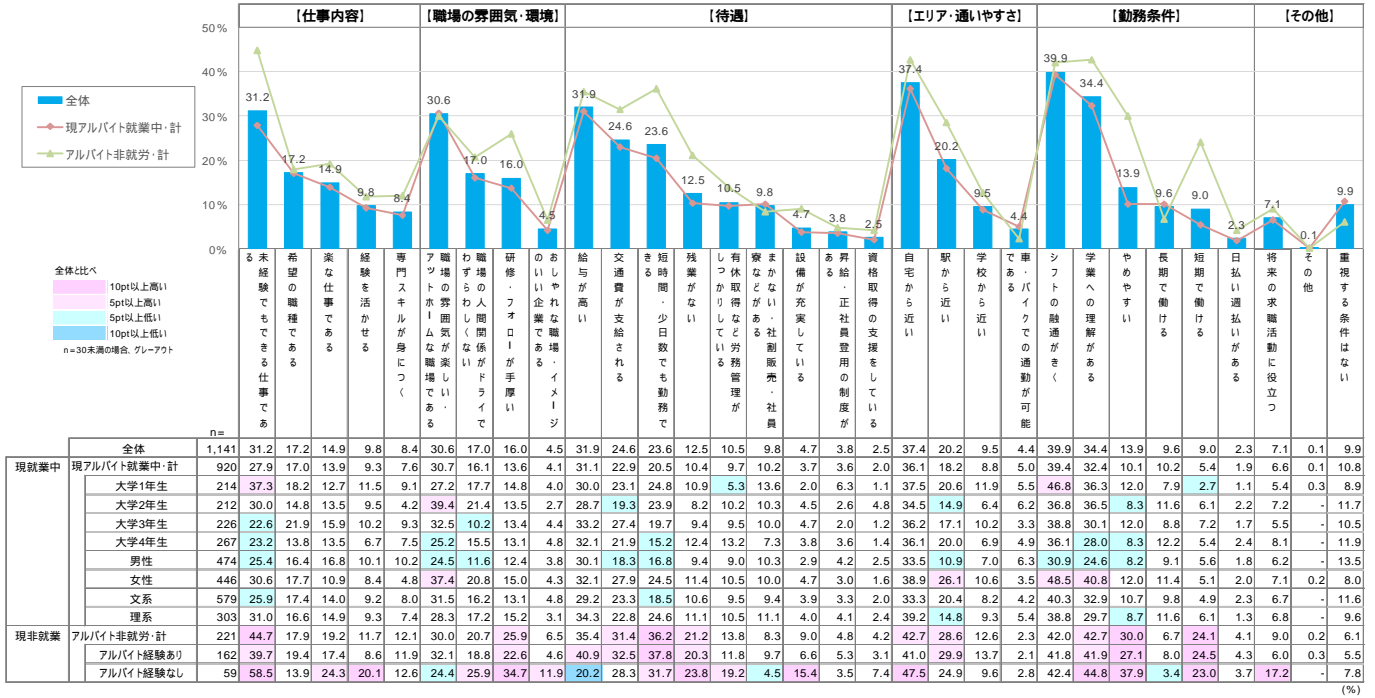
### (3) 大学生のアルバイト探しに関する意識

#### 仕事探しの重視点：絶対条件

【アルバイト探しの際に絶対になくはない条件（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者 + アルバイト意向者

- ・現アルバイト就業者・計で見ると、【仕事内容】では「未経験でもできる仕事である」、【職場の雰囲気・環境】では「職場の雰囲気が楽しい・アットホームな職場である」、【待遇】では「給与が高い」、【エリア・通いやすさ】では「自宅から近い」、【勤務条件】では「シフトの融通がきく」が特に高い
- ・【勤務条件】の「シフトの融通がきく」「学業への理解がある」は、現就業中の女性でやや高め。また非就業者で項目全般に高め

各カテゴリ内について、全体のスコアを降順ソート

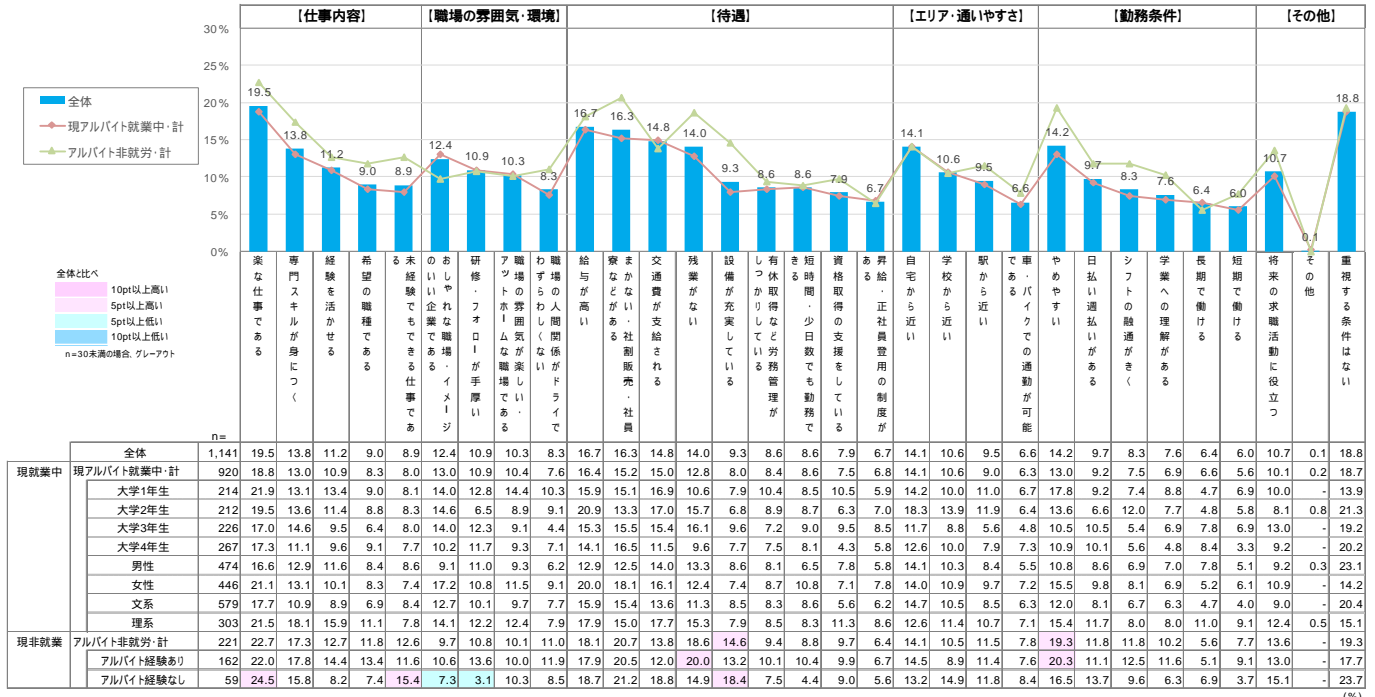


#### 仕事探しの重視点：あったら良いが、必須ではない

【アルバイト探しの際にあったら良いが必須ではない条件（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者 + アルバイト意向者

- ・現アルバイト就業者・計で見ると、【仕事内容】では「楽な仕事である」、【職場の雰囲気・環境】では「おしゃやかな職場・イメージのいい企業である」、【待遇】では「給与が高い」、【エリア・通いやすさ】では「自宅から近い」、【勤務条件】では「やめやすい」が特に高い
- ・「やめやすい」は、現アルバイト就業者・計をアルバイト非就業者・計が上回る

各カテゴリ内について、全体のスコアを降順ソート



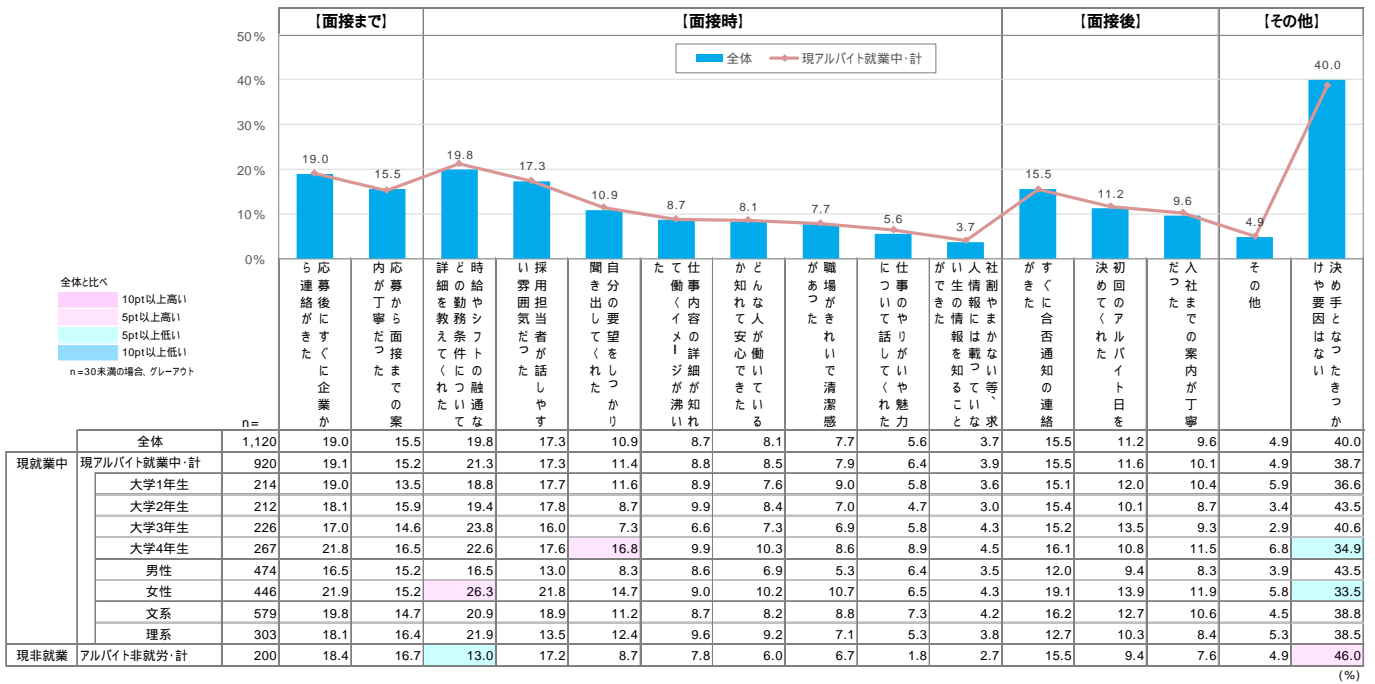
### 入社の手

【応募してから入社までの期間で、入社の手となった要因（複数回答）】

ベース：アルバイト就業者 + 非就業の大学生でアルバイト経験者

- ・現アルバイト就業者・計でみると、「決め手となったきっかけや要因はない」を除けば「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えた」「応募後にすぐに企業から連絡がきた」「採用担当者が話しやすい雰囲気だった」などが比較的高い
- ・「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えた」は現就業者中の女性で高め

各カテゴリ内について、全体のスコアで降順ソート

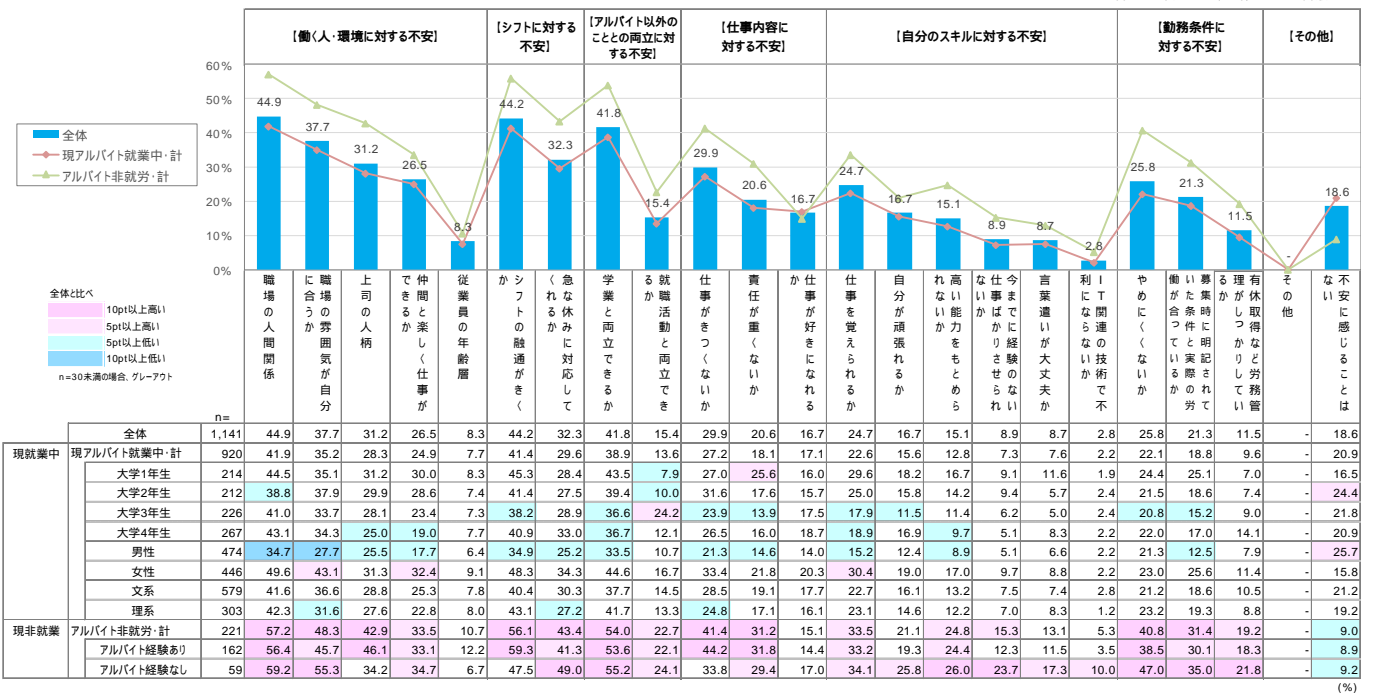


### アルバイトを始める際の不安要素

【新しくアルバイトを始める際に不安なこと（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者 + 非就業のアルバイト意向者

- ・現アルバイト就業者・計でみると、【働く人・環境に対する不安】では「職場の人間関係」が、【シフトに対する不安】では「シフトの融通がきくか」、【アルバイト以外のこととの両立に対する不安】では「学業と両立できるか」、【仕事内容に対する不安】では「仕事がきつくないか」などが特に高い
- ・項目全般に非就業者でスコアが高め

各カテゴリ内について、全体のスコアで降順ソート



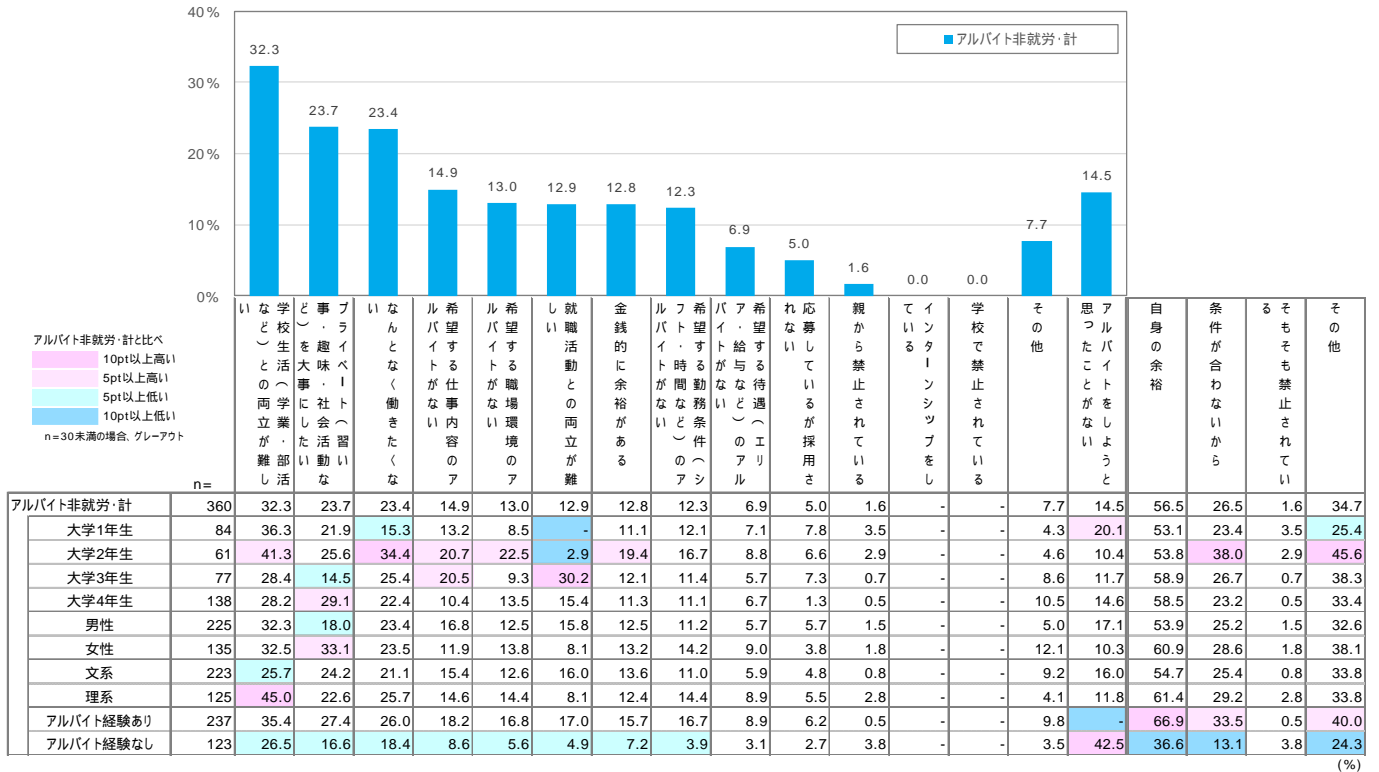
（4）非就業理由と就業意向

非就業理由

【アルバイトをしていない理由（複数回答）】 ベース：アルバイト非就業者

- ・アルバイト非就労・計でみると、「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」が最も高く、次いで「プライベート（習い事・趣味・社会活動など）を大事にしたい」「なんとなく働きたくない」が続く
- ・「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい」は大学2年生および理系でやや高め。「就職活動との両立が難しい」は大学3年生で高め

アルバイト非就労・計のスコアで降順ソート

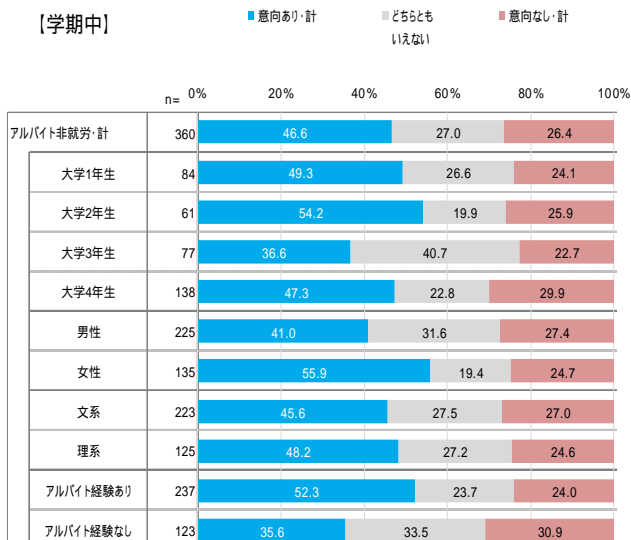


アルバイト就業意向（現非就業）

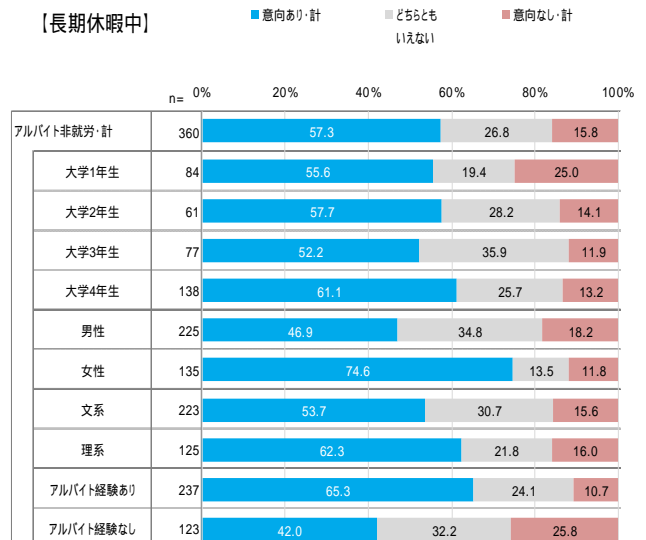
【大学生の間にアルバイトをしてみたいと思うか（単一回答）】 ベース：アルバイト非就業者

- ・学期中のアルバイト就労意向をアルバイト非就労・計でみると、【意向あり】は5割弱、【意向なし】は3割弱
- ・【意向あり】は大学2年生と女性で高め。就職活動で忙しい大学3年生で【意向あり】が低い
- ・アルバイト経験ありとなしでは【意向あり】のスコアの差が大きい
- ・長期休み中のアルバイト就労意向をアルバイト非就労・計でみると、【意向あり】は6割弱、【意向なし】は1割台半ば
- ・【意向あり】は女性で7割台半ばと特に高い。就職活動で忙しい大学3年生で【意向あり】がやや低いほか、男性でも低い
- ・アルバイト経験ありとなしでは【意向あり】のスコアの差が大きい

【学期中】



【長期休暇中】



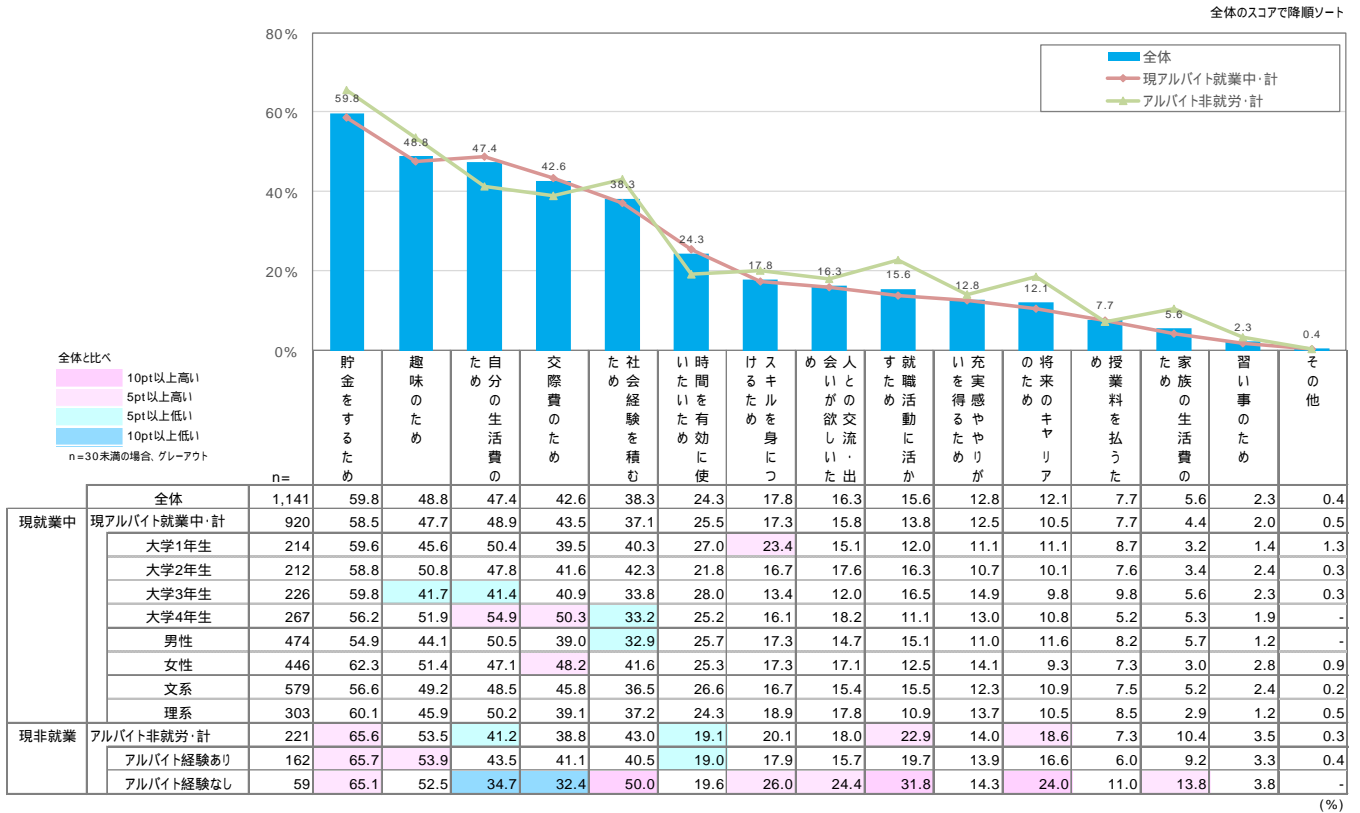


（5）現在のアルバイトへの意識

アルバイト就業の目的（複数回答）

【アルバイトをする目的（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者 + 非就業のアルバイト意向者

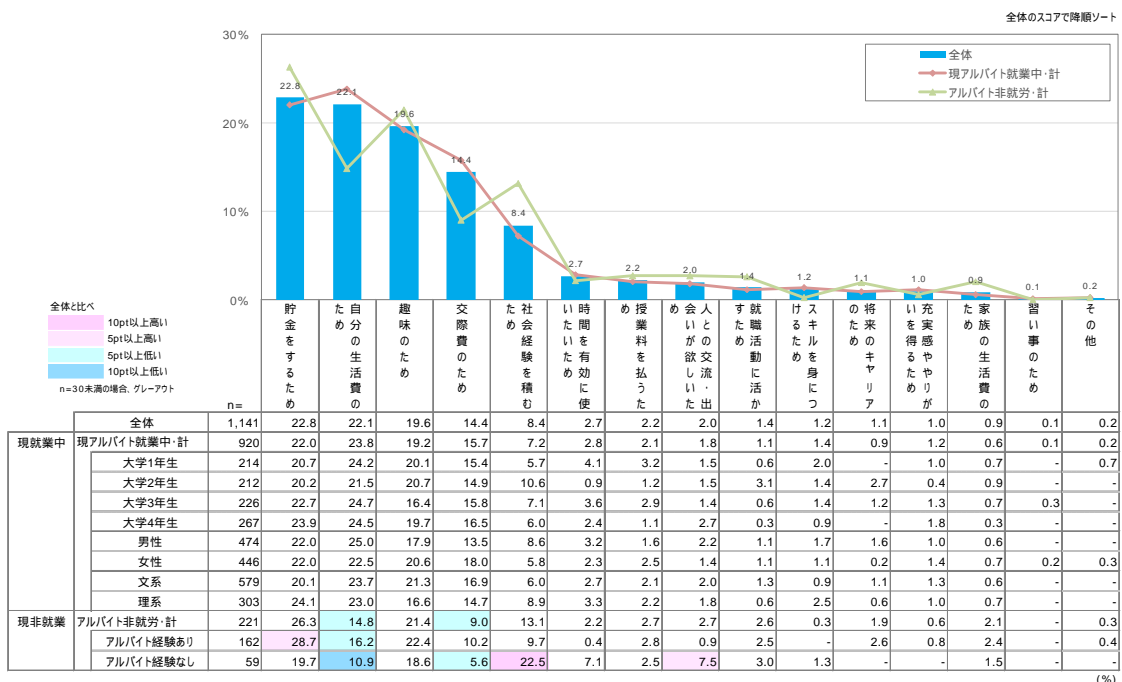
- ・現アルバイト就業者・計で見ると、「貯金をするため」「趣味のため」「自分の生活費のため」「交際費のため」などが上位にあがる
- ・「自分の生活費のため」「交際費のため」は大学4年生でやや高め
- ・アルバイト意向のある非就労者の「貯金をするため」のスコアは、現アルバイト就業者・計をやや上回る



アルバイト就業の目的（単一回答）

【アルバイトをする目的（単一回答）】 ベース：アルバイト就業者 + 非就業のアルバイト意向者

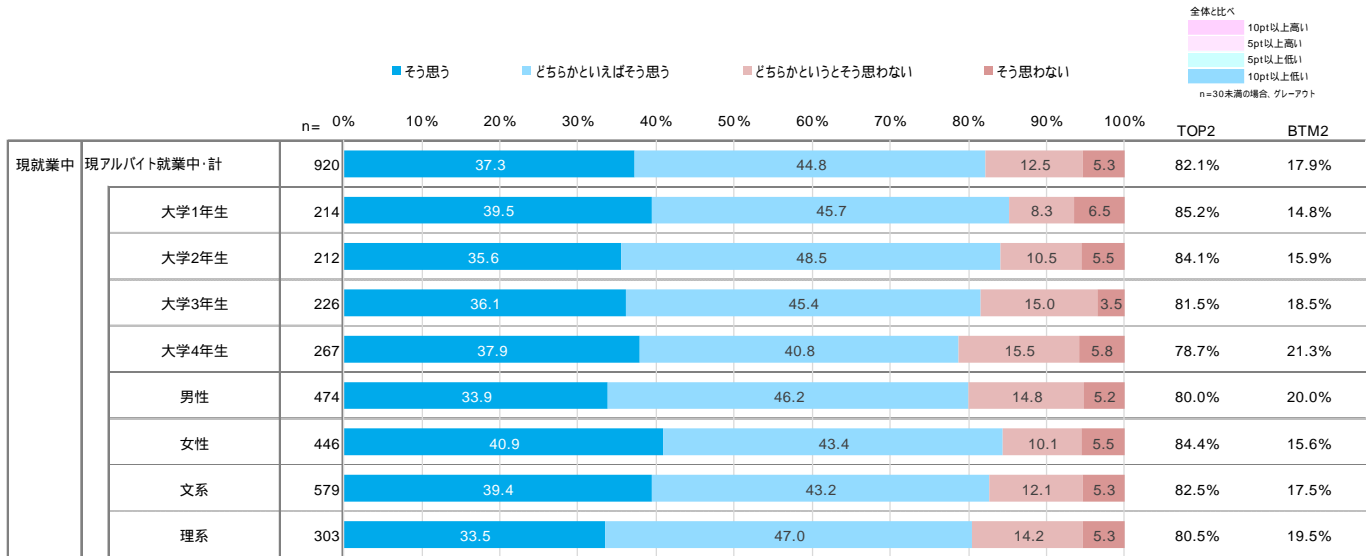
- ・現アルバイト就業者・計で見ると、「自分の生活費のため」「貯金をするため」「趣味のため」「交際費のため」が特に高い
- ・現アルバイト就業者・計は、「自分の生活費のため」「交際費のため」においてアルバイト非就労・計をやや上回る



### アルバイト先に対する意識：継続意向

【現在のアルバイト先で長く働きたいと思うか（単一回答）】 ベース：アルバイト就業者

・現アルバイト就業者・計でみると、TOP2は8割強、BTM2は2割弱と、肯定意見が否定意見を大きく上回る

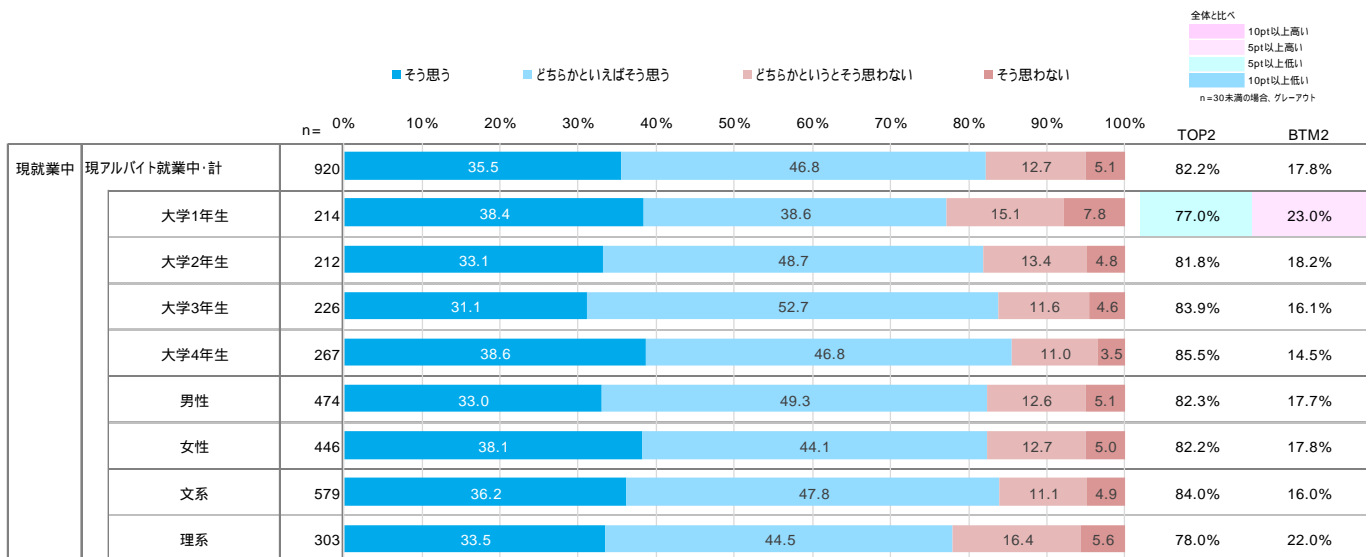


### アルバイト先に対する意識：満足度

【現在のアルバイト先に満足しているか（単一回答）】 ベース：アルバイト就業者

・現アルバイト就業者・計でみると、TOP2は8割強、BTM2は2割弱と、肯定意見が否定意見を大きく上回る

・大学1年生でTOP2がやや低め

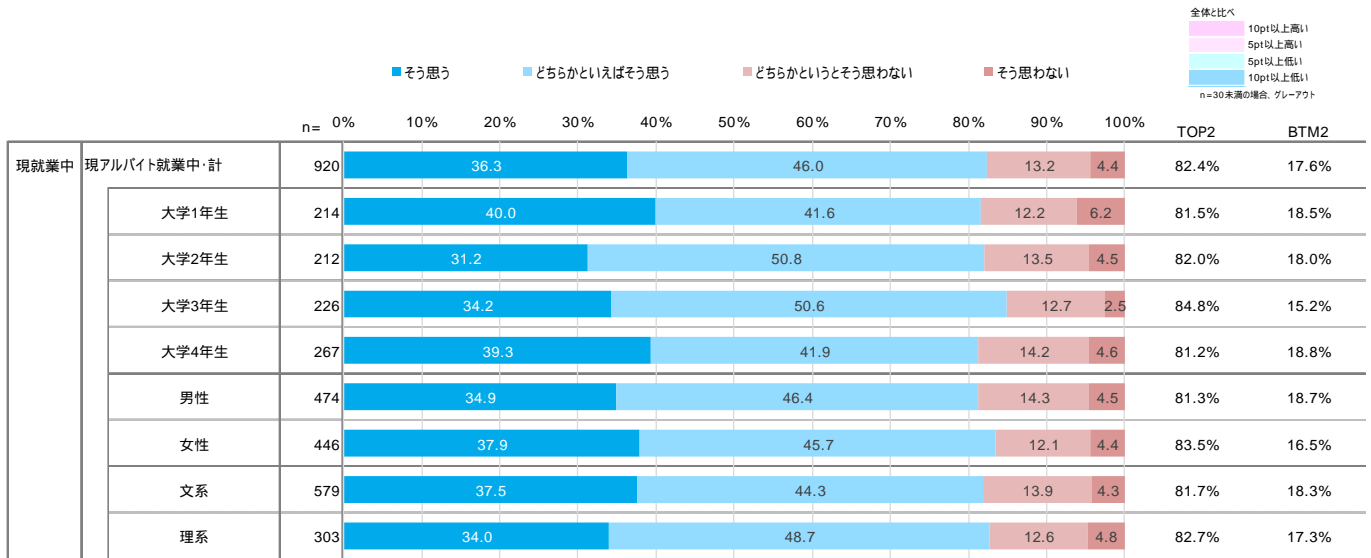




### アルバイト先に対する意識：前向きさ

【現在のアルバイトに前向きに取り組めるか（単一回答）】 ベース：アルバイト就業者

・現アルバイト就業者・計でみると、TOP2は8割強、BTM2は2割弱と、肯定意見が否定意見を大きく上回る

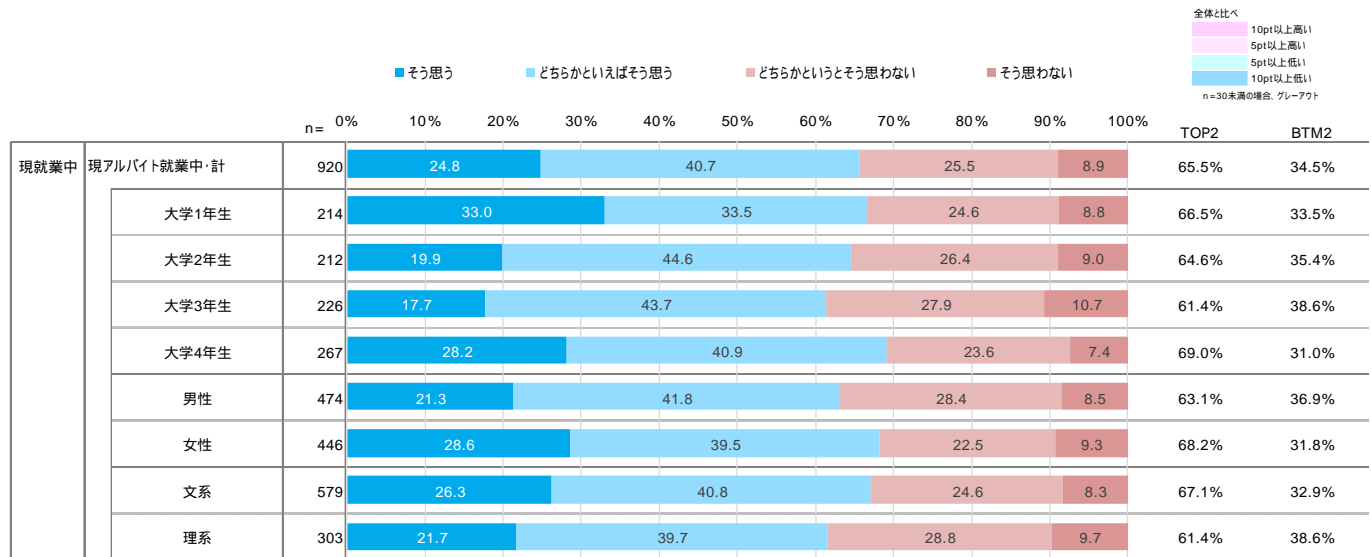


### アルバイト先に対する意識：推奨度

【現在のアルバイト先を家族や友人に薦めたいと思えるか（単一回答）】 ベース：アルバイト就業者

・現アルバイト就業者・計でみると、TOP2は7割弱、BTM2は3割台半ばと、肯定意見が否定意見を大きく上回る

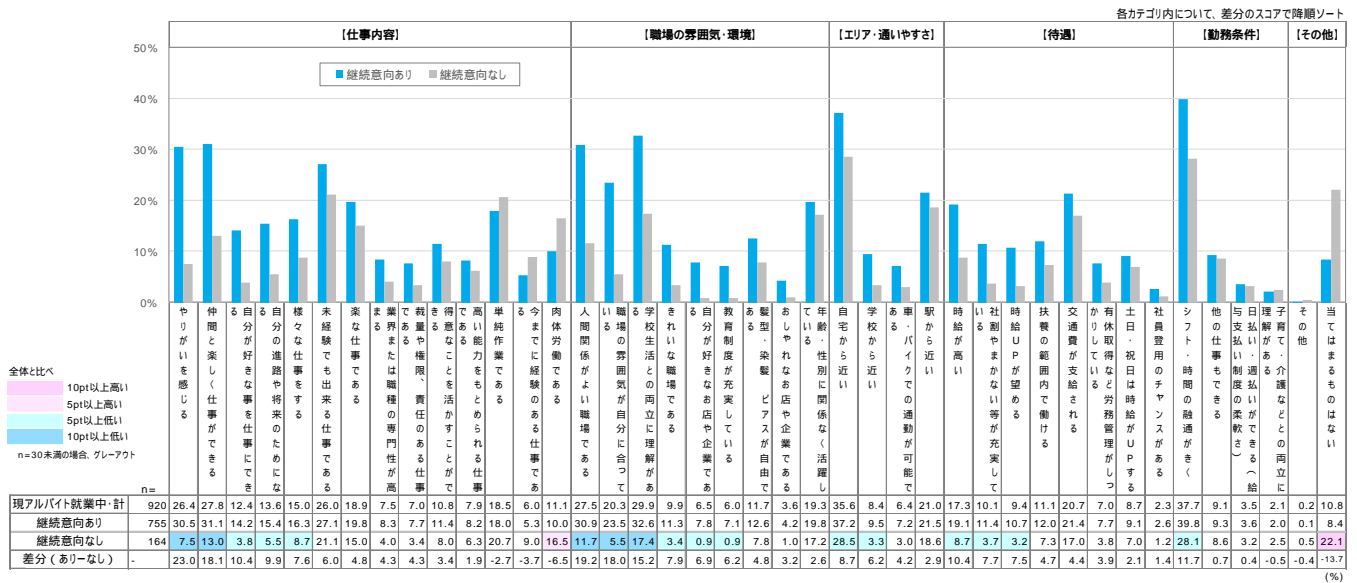
・大学1年生でTOP1が高い



## 継続意向とアルバイト先の実情

【現在のアルバイト先について当てはまるもの（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者

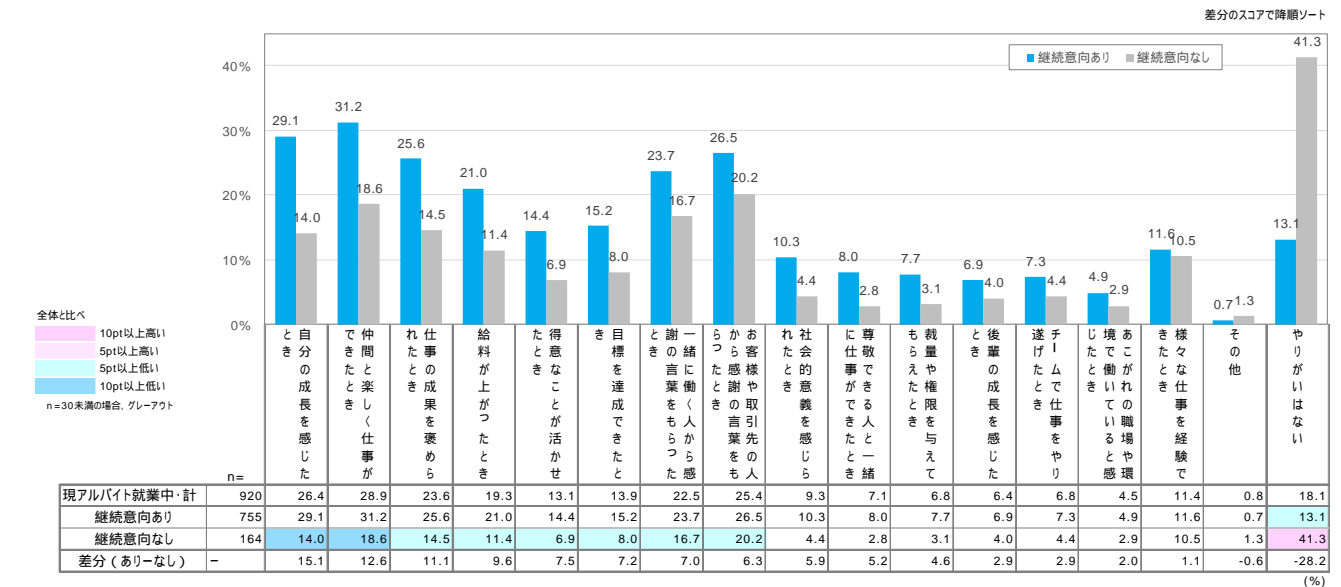
- ・現在のアルバイト先について当てはまるものを現職場への【継続意向あり】層と【継続意向なし】層で比較すると、「やりがいを感じる」「人間関係がよい職場である」「仲間と楽しく仕事ができる」「職場の雰囲気が自分に合っている」の項目で差が大きく、【継続意向あり】の方が高いスコアとなっている



## 継続意向とやりがい

【現在のアルバイトでやりがいに感じるとき複数回答】 ベース：アルバイト就業者

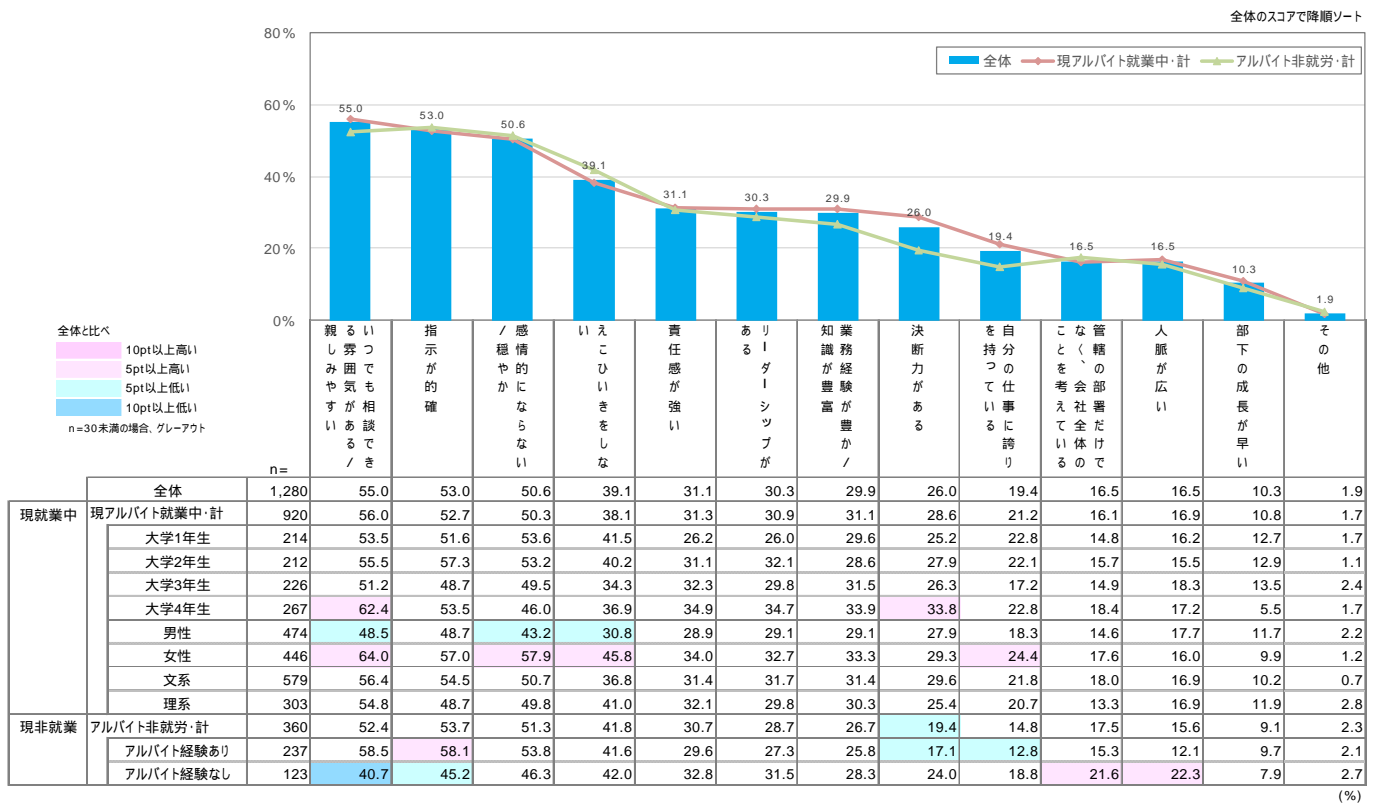
- ・やりがいを感じたとときについて、現職場への【継続意向あり】層と【継続意向なし】層で比較すると、【継続意向あり】層の方がやりがいを感ぜられた場面が多い
- ・差分が大きかったのが「自分の成長を感じたとき」「仲間と楽しく仕事できたとき」「仕事の成果を褒められたとき」



## 理想の上司

### 【理想の上司像（複数回答）】

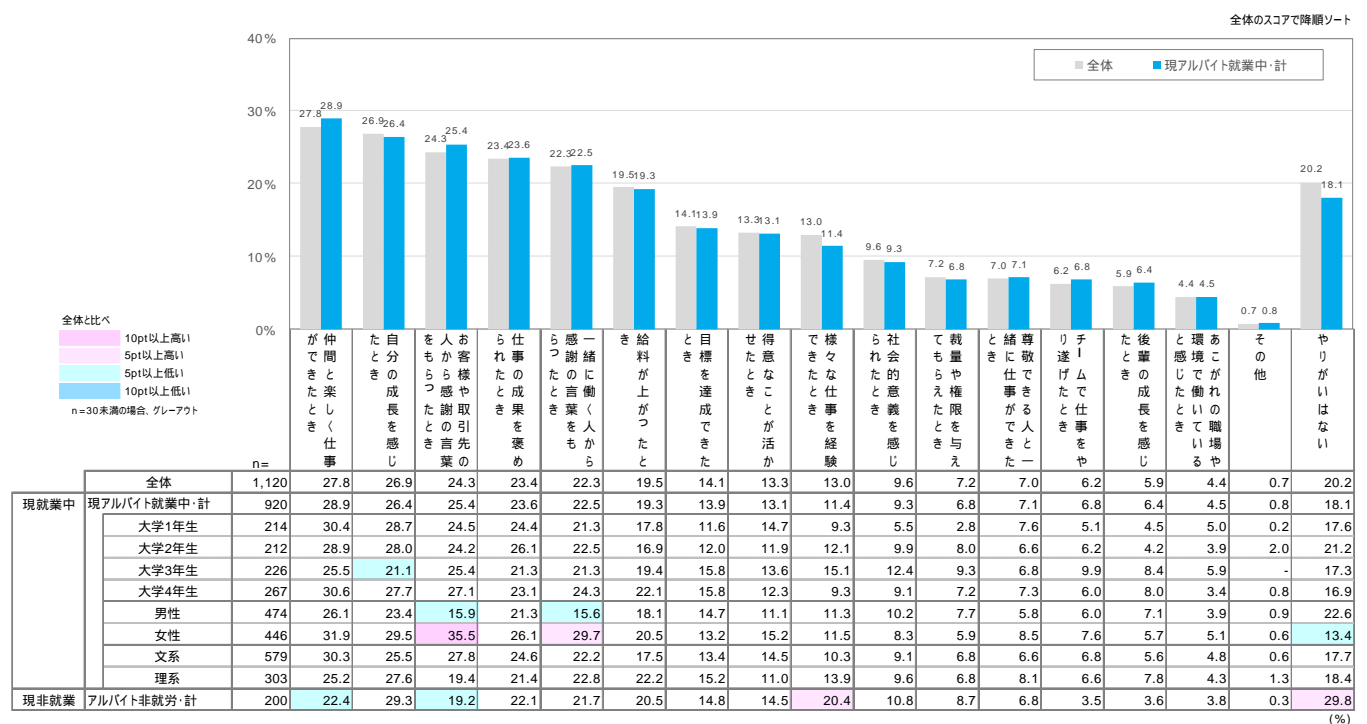
- ・現アルバイト就業中・計で見ると、「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「指示が的確」「感情的にならない／穏やか」などが上位にあがる
- ・「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「感情的にならない／穏やか」「えこひいきしない」は現就業中の女性で高め



## やりがい

### 【やりがいと感じたとき（複数回答）】 ベース：アルバイト就業者 + 非就業の大学生でアルバイト経験者

- ・現アルバイト就業中・計で見ると、「仲間と楽しく仕事できたとき」「自分の成長を感じたとき」「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」「仕事の成果を褒められたとき」「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」などが上位にあがる
- ・「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」は現就業中の女性で高め

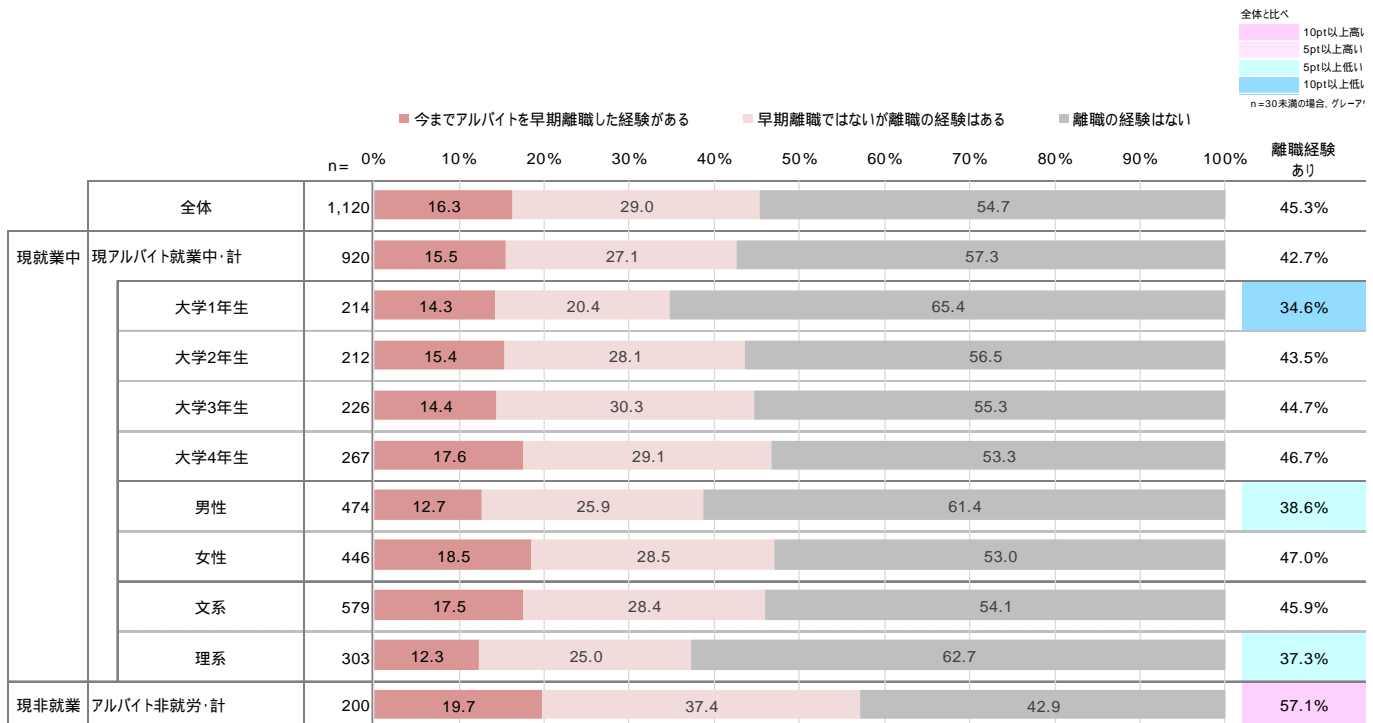


(6) アルバイトにおける就職活動の意識

アルバイト離職経験

【アルバイトの離職経験（単一回答）】 ベース：アルバイト就業者 + 非就業の大学生でアルバイト経験者

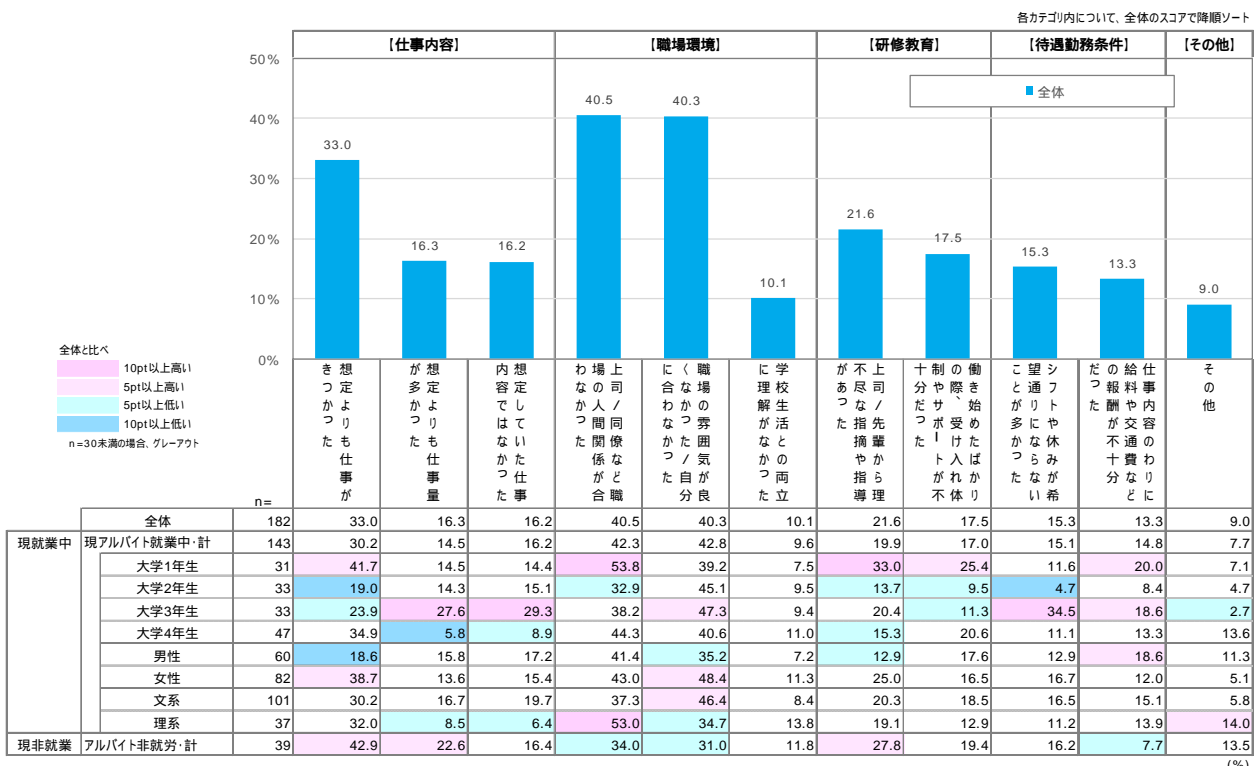
- ・現アルバイト就業者・計でみると、「早期離職した経験がある」は1割台半ば、「離職経験あり」は4割強
- ・「離職経験あり」は大学1年生のほか男性、および理系でやや低い



早期離職要因

【早期離職の要因（複数回答）】 ベース：早期退職経験あり

- ・現アルバイト就業者・計でみると、【職場環境】の「上司 / 同僚など職場の人間関係が合わなかった」、「職場の雰囲気が悪くなかった / 自分に合わなかった」が特に高い
- ・そのほか【仕事内容】の「想定よりも仕事が見つかった」も比較的高い



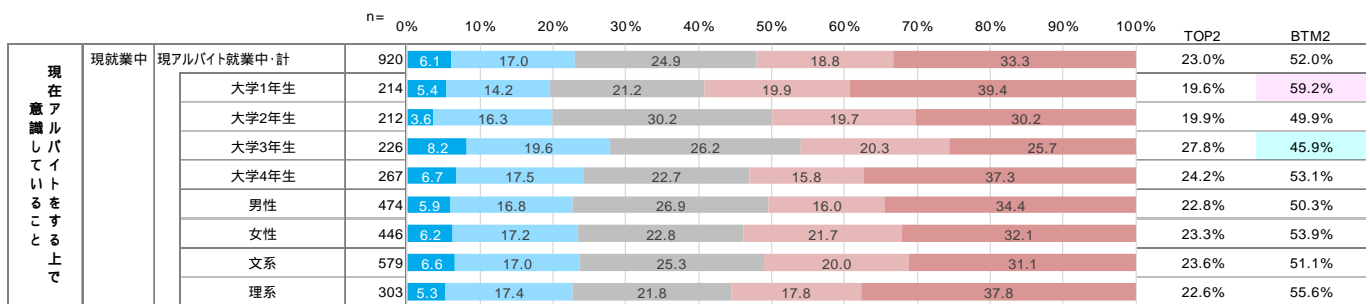
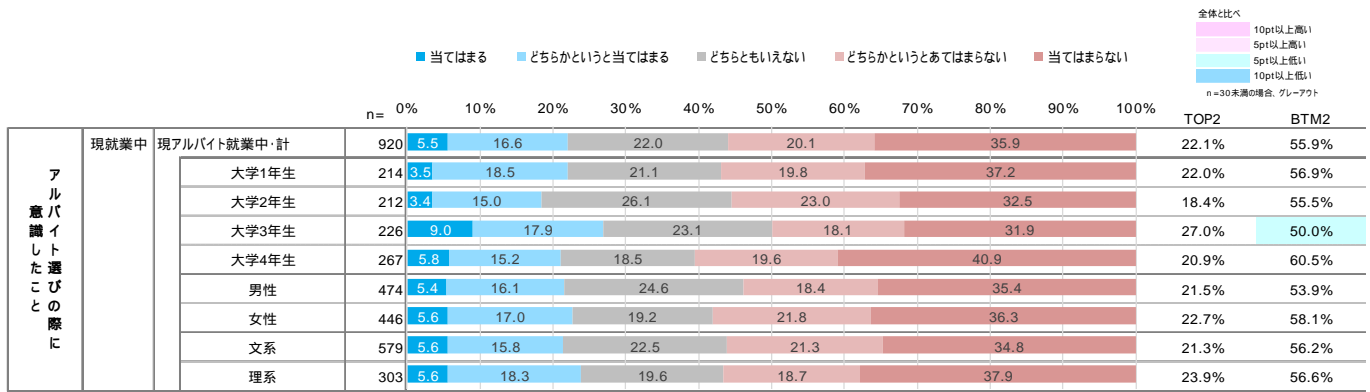
（7）アルバイトにおける就職活動の意識

就職活動への意識

【現在のアルバイトを選んだ時の就職活動への意識 / 現在アルバイトに取り組んでいる時の就職活動への意識（単一回答）】

ベース：アルバイト就業者

- ・現アルバイト就業者・計で「就職活動を意識してアルバイト先を決めた」をみると、TOP2が2割強、BTM2が5割台半ばと、就職活動を意識していないが上回る
- ・また、「就職活動を意識してアルバイトをしている」についても、就職活動を意識していないが上回る
- ・大学3年生においては、いずれの項目も意識している割合は他学年より比較的高い

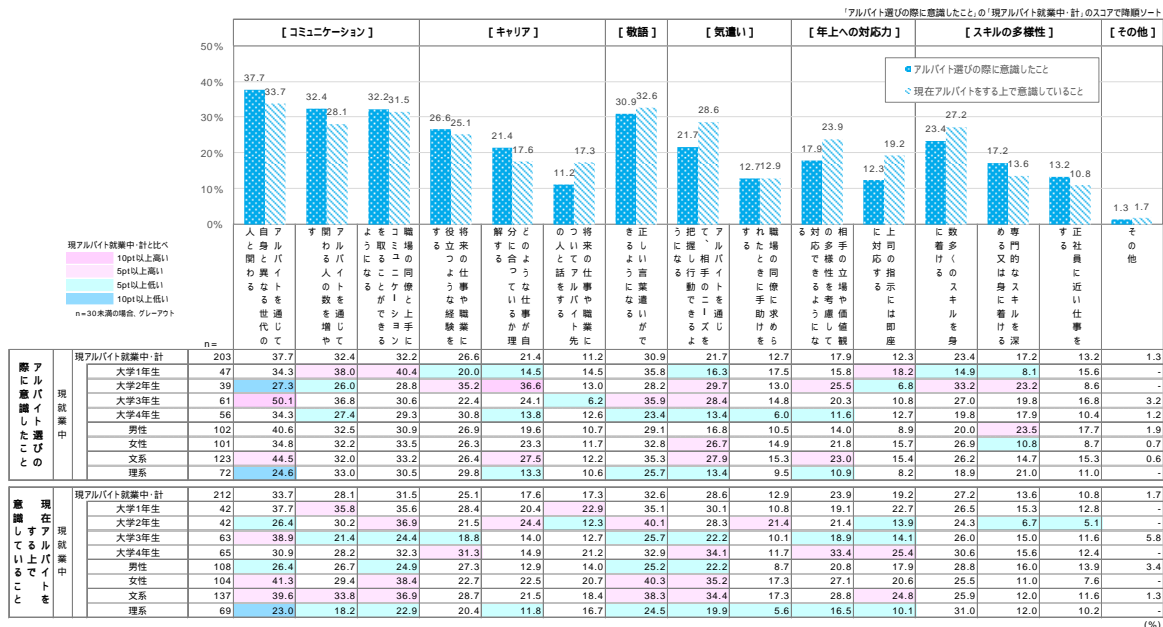


就職活動への意識項目

【就職活動に関して意識した項目（複数回答）】

ベース：アルバイト選び時に就職活動を意識している人 / アルバイト就業者中に就職活動を意識している人

- ・現アルバイト就業者・計でみると、大学1年生で「アルバイトを通じて自身と異なる世代の人と関わる」「アルバイトを通じて関わる人の数を増やす」「職場の同僚と上手にコミュニケーションを取ることができるようになる」など【コミュニケーション】のほか、「正しい言葉遣いができるようになる」が、「アルバイト選びの際に意識したこと」と「現在アルバイトをする上で意識していること」のいずれにおいても

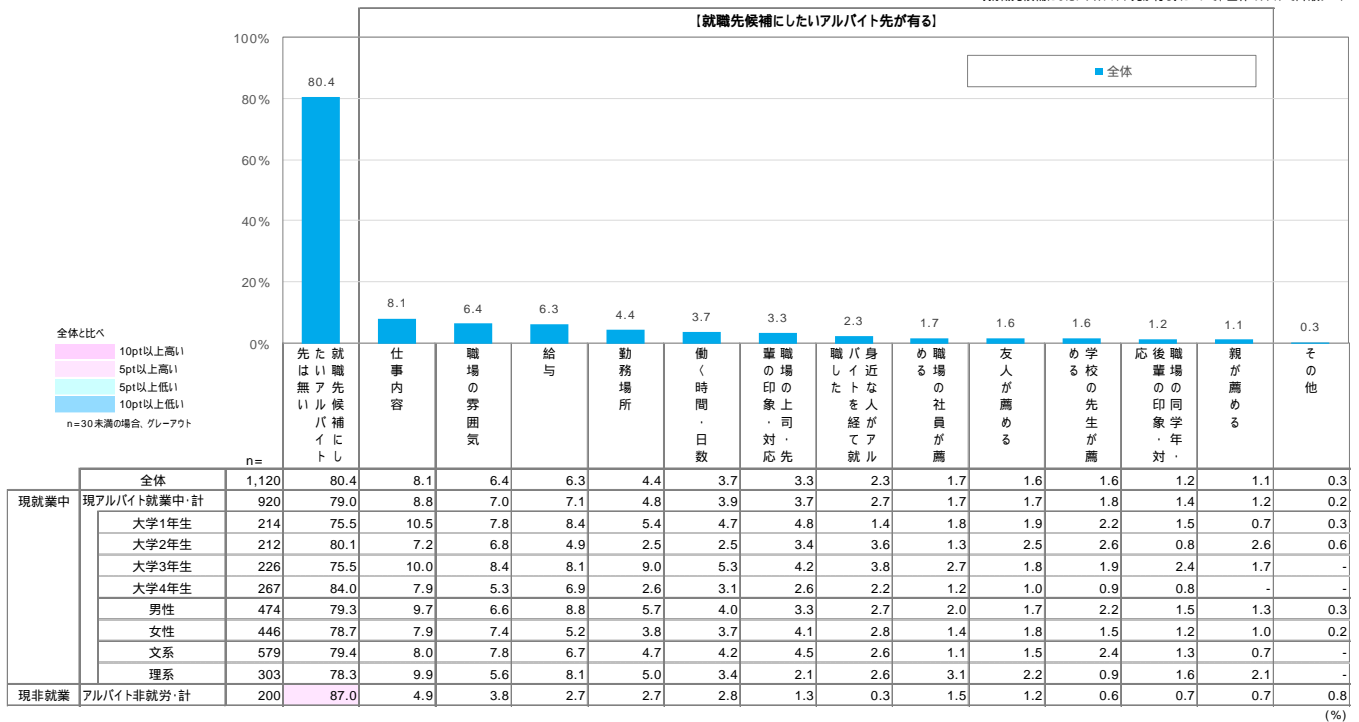


## 就職先候補（理由）

【就職先にしたいと思える職場の有無とその理由】 ベース：アルバイト就業者＋非就業の大学生でアルバイト経験者

- ・現アルバイト就業者・計でみると、約8割が「就職先候補にしたいアルバイト先は無い」を占める
- ・就職先候補がある理由はいずれも1割未満と低い中で、「仕事内容」「給与」「職場の雰囲気」などが比較的高い

【就職先候補にしたいアルバイト先がある】について、全体のスコアを降順ソート

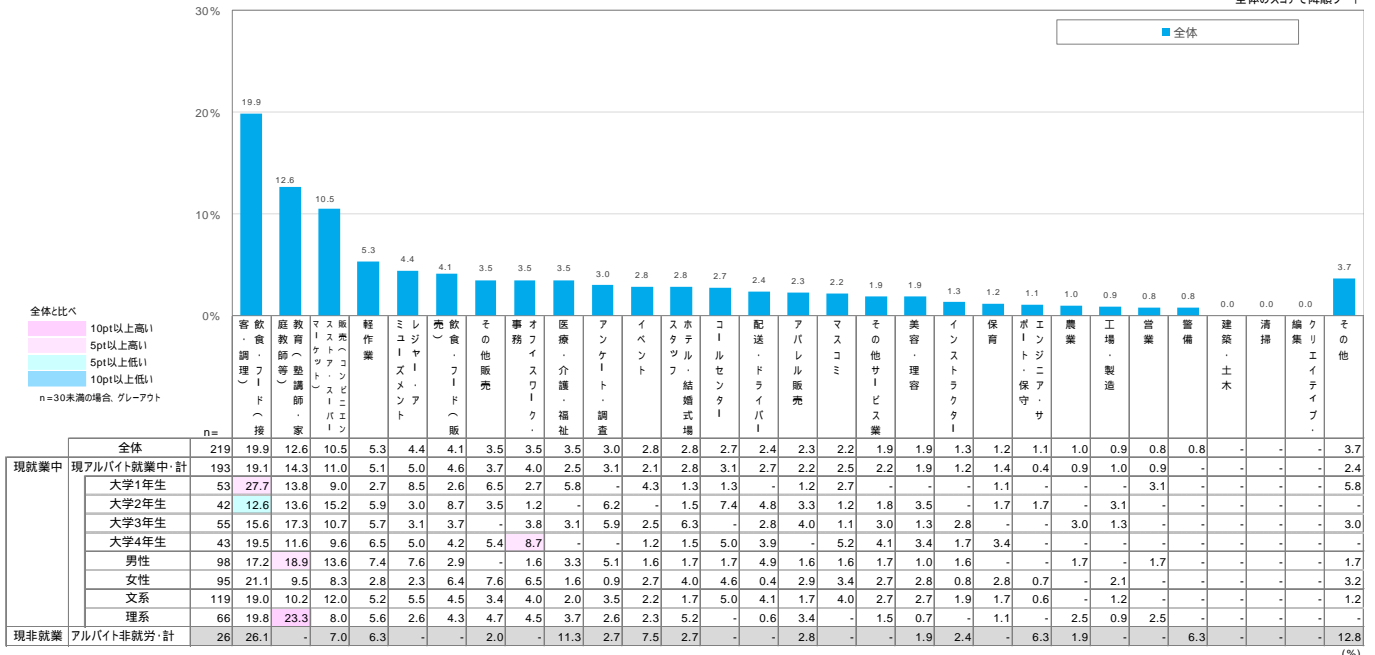


## 就職先候補（職種）

【就職先にしたいと思える職場における職種】 ベース：就職先にしたいと思える職場先が「ある」と回答した人

- ・現アルバイト就業者・計でみると、「飲食・フード（接客・調理）」「教育（塾講師・家庭教師等）」「販売（コンビニエンスストア・スーパーマーケット）」などが上位にあがる
- ・「飲食・フード（接客・調理）」は大学1年生で、「教育（塾講師・家庭教師等）」は男性、および理系でやや高め

全体のスコアを降順ソート



ウェイトバック集計について

- ・大学生の就業実態を把握するにあたり、調査結果をより実態に近い形にするために、ウェイトバック集計を行った。
- ・ウェイトバック集計の元となる大学生の実態は、『学校基本調査（令和元年）』（文部科学省）を利用した。
- ・『学校基本調査』の調査範囲は、幼稚園、幼保連携型認定こども園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校、大学（短期大学を含む）、高等専門学校、専修学校及び各種学校であり、毎年、各学校・施設からの報告形式で実施している。

本調査回答者の構成比を、市場構成比に近づけるために、以下の通りウェイトバック集計を実施した。

学校基本調査（令和元年）より、性別×エリアの各セグメント該者数を集計

	大学生計		
	計	男性	女性
TOTAL	2,599,684	1,427,514	1,172,170
北海道	78,122	47,056	31,066
東北	109,926	63,435	46,491
甲信越・北陸	103,950	61,053	42,897
北関東	77,628	42,994	34,634
一都三県	1,064,282	580,958	483,324
東海	242,197	130,104	112,093
関西	535,986	289,139	246,847
中国・四国	171,137	92,222	78,915
九州・沖縄	216,456	120,553	95,903

で算出された性別×エリアの構成比を算出

	大学生計		
	計	男性	女性
TOTAL	1.0000000	0.5491106	0.4508894
北海道	0.0300506	0.0181007	0.0119499
東北	0.0422844	0.0244010	0.0178833
甲信越・北陸	0.0399856	0.0234848	0.0165009
北関東	0.0298606	0.0165382	0.0133224
一都三県	0.4093890	0.2234725	0.1859164
東海	0.0931640	0.0500461	0.0431179
関西	0.2061735	0.1112208	0.0949527
中国・四国	0.0658299	0.0354743	0.0303556
九州・沖縄	0.0832624	0.0463722	0.0368903

本調査回答者の構成比を、の構成比に合わせ集計を実施

ウェイトバック前の回答者数

	大学生計		
	計	男性	女性
TOTAL	1280	424	856
北海道	40	12	28
東北	65	18	47
甲信越・北陸	65	24	41
関東	64	21	43
一都三県	514	172	342
東海	110	38	72
関西	257	92	165
中国・四国	89	26	63
九州・沖縄	76	21	55

ウェイトバック後の回答者数

	大学生計		
	計	男性	女性
TOTAL	1280	699	581
北海道	39	23	15
東北	54	31	23
甲信越・北陸	52	30	22
関東	38	21	17
一都三県	522	284	239
東海	120	64	56
関西	264	142	123
中国・四国	85	45	39
九州・沖縄	107	59	48